

1. 件名：「浜岡原子力発電所 3号炉及び4号炉の地震等に係る新規制基準適合性  
審査に関する事業者ヒアリング(156)、(189)」

2. 日時：令和5年12月26日(火) 13時30分～16時00分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口上席安全審査官、谷主任安全審査  
官、鈴木安全審査専門職、松末技術参与、道口主任技術研究  
調査官

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 原子力土建部長  
他10名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<本年11月29日受領>

- ・浜岡原子力発電所 地震による津波のうちプレート間地震の津波評価につ  
いて (コメント回答)
- ・浜岡原子力発電所 地震による津波のうちプレート間地震の津波評価につ  
いて (本編資料)

時間	自動文字起こし結果
0:00:17	あ、
0:00:18	あ、規制庁地震津波審査部門のスズキそれでは、時間になりましたんで 浜岡原子力発電所地震による津波のうち、
0:00:26	プレート間地震の津波評価のコメント回答
0:00:29	ことで、本件は、資料が、11 月末に資料が出てきたちょうど津波堆積 物、
0:00:36	県の、
0:00:37	ヤマサキにやりましたんで、少し間が空いてますけど、
0:00:40	資料としては 11 月 29 日付でコメント回答と本編資料と、
0:00:45	いう形で資料で、
0:00:47	今年の 1 月ですかね、の会合で、
0:00:51	プレート間地震の津波についてちょっと全体の丸、
0:00:56	ニシナをして資料だ。
0:00:58	いうことで出てきた資料になりますので、
0:01:00	ちょっと技術的な中身で大きな変化というか新しく解析したようなものは ない。
0:01:05	ようには見受けて、
0:01:07	まず説明の方ですね、どういう点を改善
0:01:10	で、まずは資料の方ですね、中部電力の方から説明をお願いします。
0:01:16	はい。中部電力の大賀です。今お話いただきましたように 2023 年 1 月 27 日、
0:01:22	ー1109 回審査会合で、プレート間の津波評価について審議いただきて おります。
0:01:29	その際評価方針、論理構成を再点検するようにイトウのコメントいた だきましたので、その点の修正をして取りまとめてきましたので、説明をさ せていただきます。
0:01:40	説明時間 25 分ほどになります。よろしく申し上げます。
0:01:46	中部電力の鈴木です。
0:01:47	浜岡原子力発電所地震による津波のうち、プレート間地震の津波、津 波評価についてコメント回答をご説明いたします。
0:01:55	2 ページは本日の説明内容。
0:01:58	3 ページはコメント一覧表。
0:02:00	4 ページは、本日の説明内容です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:03	第 1109 回審査会合では、プレート間地震の津波評価について説明し、No. 1 コメント、プレート間地震の津波評価の方針、論理構成、評価結果の最低再点検のコメントをいただきました。
0:02:17	本日はコメント回答資料にて、地震による津波の全体会議概要をご説明の上、
0:02:22	プレート間地震に関するコメント回答について説明します。
0:02:26	なお本編資料にはコメント回答を反映したプレート間地震の津波評価の全体を取りまとめています。
0:02:33	5 ページは目次。
0:02:34	6 ページからは、地震による津波の全体概要で、このうち、プレート間地震の概要について、今回のコメント回答に伴い、
0:02:43	評価の変更はありませんが、評価方針等を明確化するなど、記載を変更してございます。
0:02:48	変更内容について、この後コメント回答の中でご確認いただきます。20 ページをお願いします
0:02:58	20 ページからはコメント回答となります。
0:03:02	21 ページはコメントとコメント回答概要です。
0:03:06	第 1109 回審査会合では、プレート間地震の津波評価の方針、論理構成を再点検し、
0:03:12	痕跡再現モデル、或いは検討波源モデルの位置付け、
0:03:16	パラメータスタディやパラメータスタディの幅等を含め、
0:03:19	一連の体系的な内容として整理されているかを確認して説明すること。
0:03:24	検討波源モデルのパラメータスタディを再点検し、評価に漏れがなく、評価結果が変わらないかを確認して説明することのコメントがございました。
0:03:34	これに対して今回、コメント回答として、全 9 回の審査会合における議論を逐次反映してきたプレート間地震の津波評価について、
0:03:43	評価方針、論理構成根拠を再点検し、特に(1)から(3)の項目について、評価方針等を明確化して整理を行い、
0:03:52	一連の体系的な内容として、資料を再編成いたしました。
0:03:56	まず(1)、
0:03:57	プレート間地震の津波評価全体の評価方針の整理として、全体の評価方針を明確化し、それに伴い、全体構成を見直します
0:04:06	また、(2)基準断層モデルの設定方針の整理として、基準断層モデルの設定方針を明確化し、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:14	各波源モデル間の関係を整理します。
0:04:17	最後に(3)パラメータスタディの妥当性確認の網羅的な実施として、動的パラメータに関するパラメータスタディの検討方針を明確化するとともに、
0:04:27	パラメータスタディの評価結果の妥当性確認を網羅的に実施し、評価に漏れがなく、評価結果が変わらないことを再確認します
0:04:36	22 ページは、資料構成の変更として、左に前回会合、右に今回見直した津波評価フローを示します。
0:04:44	箱書きの2ポツ目ですが、今回、各波源モデルの検討に関する章構成を変更し、まず、緑色の既往最大地震の広域の津波特性を考慮した検討波源モデルの設定を行い、
0:04:57	次により敷地への影響が大きいモデルを設定する観点から、青色の
0:05:02	敷地周辺の津波影響を特に考慮した検討波源モデルの設定を行う構成とします。
0:05:08	また、これまで章立てしていた行政機関による津波評価の確認は、
0:05:13	敷地の津波評価において参照する知見の一つであることから、章立ては取り止め確認の中で、内閣府により知見として諸参照する構成とします。
0:05:24	23 ページは、構成見直し後のプレート間地震の津波評価の検討概要。
0:05:29	24 ページは、プレート間地震の津波評価の検討フローです。
0:05:33	この後それぞれの章について順を追ってご説明します。
0:05:38	25 ページは、1 章、検討対象地震の選定の検討概要です。
0:05:43	浜岡敷地は南海トラフに面しており、敷地に近い南海トラフのプレート間地震の津波が大きな影響をおよぼしています。
0:05:50	検討対象地震の選定では、南海トラフ及びその周辺の沈み込み体を対象として、
0:05:56	表に整理したように、既往津波の文献調査、
0:06:00	各沈み込み体の特徴に関する文献調査、
0:06:03	数値シミュレーションによる敷地影響評価を実施し、
0:06:06	南海トラフのプレート間地震の津波影響が大きいことを確認の上、
0:06:10	敷地に近い、南海トラフのMw9 クラスのプレート間地震を検討対象地震として選定します。
0:06:18	26 ページからは、2 章、基準断層モデルの設定についてです
0:06:23	27 ページは、基準断層モデルの設定の検討概要です。
0:06:27	基準断層モデルは、まず、図の左上で、緑の枠で囲った、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:32	歴史記録から確認される南海トラフの既往最大地震、宝永地震の広域の津波特性を考慮する観点から、
0:06:39	既往最大地震の津波痕跡再現、
0:06:42	今セキさん、再現モデル、
0:06:44	Mw8 クラスを検討し、それをもとに、東北沖治験等国自身の知見を反映した既往最大地震の、
0:06:51	広域の津波特性を考慮した検討波源モデルMw9 クラスを設定し、
0:06:57	その次に、その下の青、青枠の中ですが、より敷地への影響が大きいモデルを設定する観点から、生態する沿岸域に大きな津波を発生させる。
0:07:07	内閣府 2012 の手法を参考に、
0:07:10	敷地が位置する演習など沿岸期において、既往最大地震以外も含む。
0:07:15	企業 5 地震の津波痕跡再現モデルMw8 クラスを検討し、それをもとに、投光器地震の知見を反映した。
0:07:22	敷地周辺への津波影響を特に考慮した検討波源モデル、Mw9 クラスを設定します。
0:07:29	さらに南海トラフの特徴の考慮として、
0:07:32	分岐断層を考慮したモデルBを、
0:07:34	取水層への影響の観点から、検討波源モデルCの町を滑り域の深さを反映したモデルDを設定します。
0:07:41	そして、設定した複数の検討波源モデルに対し、敷地への影響が支配的と考えられる滑り域の位置のパラメータスタディを実施することにより、基準断層モデルを設定します。
0:07:54	28 ページは、波源域の設定について表にて、縦軸に波源域の区分を横軸に各モデルを取り、各モデルが考慮している波源域を整理しています。
0:08:05	先ほどご説明した通り、南海トラフの特徴の考慮として、断層破壊がプレート境界面浅部や分岐断層に伝播するモデルを検討しています。
0:08:14	ここで、沈み込み体の領域の一部を波源域とするプレート間地震である津波地震等による津波影響は、沈み込み体の領域全体を波源域とし、スケーリング則に基づき地震規模や滑り量も大きい。
0:08:27	Mw9 クラスのプレート間地震の津波影響より小さいと考えられることから、
0:08:32	Mw9 クラスのプレート間地震の津波により代表することとします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:37	29 ページは、東北沖地震において巨大津波が発生した要因を反映する考え方の概要。
0:08:45	30 ページは、波源モデル設定において適用した特性化方法です。
0:08:50	本日は、詳細の説明はいたしません。既往最大地震の広域の津波特性を考慮した検討波源モデルには、土木学会 2016 による滑り量分布の特性化方法、
0:09:03	敷地周辺への津波影響を特に考慮した検討波源モデルには、内閣府 2012 による滑り量分布の特性化方法を適用し、して設定してごさいます。
0:09:14	31 ページは、2. 一章、既往最大地震の広域の津波特性を考慮した検討波源モデルの設定の検討概要です。
0:09:23	繰り返しとなりますが、まず、既往最大の宝永地震の広域の津波特性を考慮する観点から、
0:09:29	既往最大地震の津波痕跡再現モデル、Mw8 クラスを検討し、それをもとに、東北沖地震の知見を反映した既往最大地震の広域の津波特性を考慮した検討波源モデル Mw9 クラスを設定しました。
0:09:45	次に 32 ページは、2.2 章、敷地周辺への津波影響を特に考慮した。
0:09:50	検討波源モデルの設定の検討概要です。
0:09:53	先ほどのモデル C の設定に対し、より敷地への影響が大きいモデルを設定する観点から、
0:09:59	敷地が位置する演習など沿岸域において、既往最大以外も含む企業ご自身の痕跡再現モデルを検討し、
0:10:07	それをもとに、敷地周辺への津波影響を特に考慮した検討波源モデル A、B、D を設定しました。
0:10:15	次のページ以降で、さらにそれぞれの具体の概要を示して参ります。
0:10:20	33 ページは、東海地域に着目して、波源モデル設定を検討する考え方で、
0:10:27	発電所敷地前面に、左上のような初期波源を仮定した津波シミュレーションの結果に基づくと、敷地への影響が大きいのは、当庫東海地域の領域となっています。
0:10:39	ここではより敷地への影響が大きいモデルを設定する観点から、敷地への津波影響が支配的である東海地域に着目してあげモデル設定を検討いたします。
0:10:50	34 ページは検討波源モデルへの設定の概要。
0:10:54	35 ページは、検討波源モデル B の設定の概要。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:59	36 ページは、検討波源モデルDの設定のうち、広域モデルの町を滑り域の深さ反映の考え方です
0:11:07	既往最大地震の広域の津波特性を考慮したモデルCと、敷地周辺への津波影響を特に考慮したモデルAを比較した結果、モデルCの町を滑り域がモデルAよりも深い位置に設定され、
0:11:20	右側に示す地殻変動量分布が深さ方向に幅広となっていることから、初期水位として励起されて到来する津波の第一波と。
0:11:30	それによる取水槽への流入継続時間が長く、
0:11:33	取水槽の水位は高くなる可能性が考えられます。
0:11:36	そこで、敷地への影響の観点から、モデルAに対し、モデルCの町を滑り域の深さの設定を取り込んだ検討波源モデルDを設定することとしました。
0:11:48	37 ページは補足として、既往最大地震の広域の津波特性を考慮した検討波源モデルCと、
0:11:54	敷地周辺への津波影響を特に考慮した検討波源モデルADの津波評価結果を滑り域の位置に関する概略パラメータスタディ結果を確認した結果を示します
0:12:06	一番上のモデルCの長大瀬利益は、中央のモデルAよりも深い位置に設定され、
0:12:12	右の時刻歴派遣に見られるように、初期水位として励起されて到来する津波の第一波と。
0:12:18	それによる取水槽への流入継続時間が長く、取水槽の水位は高くなっていることが確認できます
0:12:24	また、一番下のモデルDは、取水槽への影響が比較的大きいモデルCの津波の特徴を反映した上で、
0:12:31	より敷地への津波影響が大きいモデルとなっていることを確認しました。
0:12:37	38 ページには、検討波源モデルの設定結果で、より敷地への影響が大きいモデルを設定する観点から、敷地周辺への津波影響を特に考慮した検討波源モデル。
0:12:49	A、B、Dを、検討波源モデルCの特徴も取り込んで設定すると整理しました。
0:12:56	39 ページは、敷地への影響が支配的である東海地域の滑り量分布を各モデルについて並べて示します。
0:13:05	40 ページからは、2.3 章の基準断層モデルの設定として、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:09	滑り域の位置に関する概略パラメータスタディの検討方針をお示します。
0:13:15	ここまでで設定した複数の検討波源モデルAからDに対し、
0:13:19	敷地への影響が支配的と考えられる。滑り域の位置の不確かさを考慮し、滑り域の位置を東西に約 10 キロずつ網羅的に移動させたパラメータスタディ用、
0:13:30	破壊開始点の位置が影響しないよう、同時破壊の条件で実施します。
0:13:35	検討の結果、水位上昇側下降側の評価地点ごとに、敷地への影響が最も大きいケース及びそれと同程度のケースを選定し、
0:13:44	複数の基準断層モデルを設定します。
0:13:47	パラメータスタディにあたっては、敷地に影響の大きい東海地域の滑り域が 1 ヶ所のケースのほか、滑り域が 2 ヶ所のケースも検討し、それぞれの滑り域を東西約 10 キロずつ移動させて検討いたします
0:14:02	41 ページは、水位上昇側のパラメータスタディ結果の一覧です。
0:14:07	① 敷地前面への影響が大きいケースとしては、検討波源モデルAをベースとした基準断層モデル、1-1 から 1-5。
0:14:16	021 から 5 号取水層への影響が大きいケースとしては、検討波源モデルDをベースとした基準断層モデル、3-1 から 3-3 を基準断層モデルとして設定しました。
0:14:29	42 ページは同じく水位下降側の結果一覧です。
0:14:33	② 34 号取水塔への影響が大きいケースとして、検討波源モデルAをベースとした基準断層モデル、2-1 から 2-3 と、
0:14:42	検討波源モデルDをベースとした基準断層モデル 4-1 を設定いたしました。
0:14:48	続いて、43 ページは、日本海溝の手法を用いたモデルとの比較の検討概要です。
0:14:55	ページ左側に示します基準断層モデルとしてせ、選定した敷地への影響が大きい波源モデル、検討波源モデルABについて、ページ右側に示します。
0:15:07	日本海溝で検討されたMw9 クラスの津波評価手法を用いて設定した日本海溝の津波評価手法モデル①から③と、
0:15:17	モデル上に黒の点線で示しています敷地への影響が支配的である東海地域に着目して、滑り量分布、
0:15:24	地殻変動量分布の比較を実施し、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:27	日本海溝モデルの滑り量分布、地殻変動量分布の特徴が考慮されていることを確認することにより、
0:15:34	日本海溝モデルとの比較を踏まえても、Mw9 クラスのモデル設定として妥当であることを確認いたします
0:15:42	44 ページは、滑り量分布の比較結果です。
0:15:45	表からご確認いただけるように、敷地周辺への津波影響を特に考慮した検討波源モデルADは、日本海溝モデルと同程度の最大 40 メートル程度の超滑り域の滑り量を考慮しています。
0:16:00	また、赤とオレンジで表示しています長を滑り域の深さについて、検討波源モデルAは、日本海溝モデル②、③の特徴、
0:16:09	検討波源モデルDは日本海溝モデル①の特徴をそれぞれ考慮していません。
0:16:15	45 ページは、地殻変動量分布の比較結果で、
0:16:19	グラフからご確認いただけるように、敷地周辺への津波影響を特に考慮した検討波源モデルADは、日本海溝モデルと同程度の最大 10 メートル程度の地殻変動量を考慮しています
0:16:32	また、陸オオキ方向の地殻変動量分布について、検討波源モデルAは、日本海溝モデル②③と同じ、トラフ軸付近等で、
0:16:41	特に大きい地殻変動量分布の特徴。
0:16:45	検討波源モデルDは、日本海溝モデル①と同じ陸、陸オオキ方向に深い領域まで大きい地殻変動量分布の特徴をそれぞれ考慮しています。
0:16:56	下の黄色の箱書きですが、以上のことから、内閣府 2012 の手法を持ち、
0:17:02	既往最大地震の広域の津波特性を考慮した検討波源モデルCの特徴も取り入れて設定した検討波源モデルADは、
0:17:11	日本海溝モデルの滑り量分布、地殻変動量分布の特徴が考慮されていることを確認し、日本海溝モデルとの比較を踏まえても、Mw9 クラスのモデル設定として妥当であることを確認しました。
0:17:26	46 ページからは、参照動的パラメータに関するパラメータスタディについて示します。
0:17:33	47 ページは、検討方針です。
0:17:36	表に示す通り、基準断層モデルの設定では、水位上昇側の①敷地前面に影響が大きいモデルとして、基準断層モデル 1-1 から 1-5、
0:17:48	021 から 5 号取水層に影響が大きいモデルとして、基準断層モデル 3-1 から 3-3。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:55	水位下降側の 0334 号取水等に影響が大きいモデルとして、基準断層モデル 2-1 から 2-3、4-1 をそれぞれ設定しています。
0:18:06	動的パラメータに関するパラメータスタディでは、これら基準断層モデルを対象とし、動的パラメータであるライズタイム、破壊伝播速度、破壊開始点に関するパラメータスタディを実施します。
0:18:20	検討手順について、Mw9 クラスの地震では、ライズタイムが津波水位に与える影響が大きいと考えられることを考慮して、
0:18:29	まずライズタイムのパラメータスタディを実施し、次に、赤い伝播速度、破壊開始点、
0:18:35	のパラメータスタディを実施します。
0:18:38	水位下降側については、パラメータスタディの妥当性確認の結果、ライズタイムの影響と破壊伝播速度、破壊開始点の影響が同程度で違いが小さかったことなどから、
0:18:49	パラメータスタディの順序によって選定ケースが変わる可能性も考慮して、ライズタイムと破壊伝播速度、破壊開始点との組み合わせのパラメータスタディを追加実施し、
0:19:00	検討の結果、基準断層モデルごとに影響が大きい評価地点に着目し、敷地への影響が最も大きいケースを選定します。
0:19:08	また、パラメータスタディ結果について、概略詳細パラメータスタディ結果の分析
0:19:14	パラメータスタディ因子の影響分析により、パラメータスタディが網羅的に実施されていることの妥当性確認を行いました。
0:19:22	48 ページは、動的パラメータの設定条件です。
0:19:27	内容はこれまでご説明した通りですが、設定方法の欄については、設定根拠や本編資料へのひもづけ等を追記しています
0:19:36	49 ページはパラメータスタディ結果の一覧です。
0:19:40	前回から結果に変更はございませんが、敷地前面で最大 22.7 メートル等となっております。
0:19:48	50 ページはパラメータスタディ因子の影響分析の方針です。
0:19:53	箱書き 1 ポツ目ですが、概略詳細パラメータスタディ結果について、パラメータスタディが網羅的に実施されていることの妥当性確認として、
0:20:02	各パラメータスタディ因子が津波評価に与える影響の大きさを分析し、
0:20:07	その影響が、パラメータスタディを実施した順を滑り域の位置、ライズタイム、破壊伝播速度、破壊開始点の順に小さくなる傾向があることを確認します。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:17	左側のグラフは、水位上昇側の敷地前面のパラメータスタディ因子の影響分析結果を例として示しており、
0:20:25	グラフの縦軸には、各パラメータスタディ因子の影響として、最大上昇水位の変動幅を、
0:20:31	横軸にはパラメータスタディ因子を示しています。
0:20:35	このように、パラメータスタディ因子の影響が順に小さくなる傾向があることを確認できれば、
0:20:40	パラメータスタディの実施方法は、網羅的な検討として妥当であると評価します。
0:20:46	一方、箱書き2ポツ目ですが、分析の結果、パラメータスタディ因子の影響が同程度で違いが小さい場合には、
0:20:53	それらのパラメータスタディの順序によって選定されるケースが変わる可能性の有無を評価し、
0:20:59	必要に応じ、当該因子の組み合わせのパラメータスタディを実施します。
0:21:03	右側のグラフは、水位下降側の取水塔地点のパラメータスタディ因子の影響分析結果を例として示しており、
0:21:11	縦軸の各パラメータスタディ因子の影響は、水位低下時間の変動幅を示しています。
0:21:17	この例では、ライズタイムと破壊伝播速度、破壊開始点の影響が同程度で違いが小さいことを確認し、分析結果に基づき、パラメータスタディの順序によって選定されるケースが変わる可能性があるとは評価し、
0:21:30	影響が大きいライズタイムを複数選定して、ライズタイムと破壊伝播速度、破壊開始点等の組み合わせのパラメータスタディを追加で実施します。
0:21:40	なお箱書き3ポツ目の通り、
0:21:42	漏れのない確認を実施する観点から、水位上昇側の影響分析はし、敷地前面、取水槽それぞれの評価時点において、影響が大きい基準断層モデルだけでなく、
0:21:53	影響が大きい基準断層モデルも含めて実施します。
0:21:58	51 ページはパラメータスタディ因子の影響分析の結果です。
0:22:03	表には左側に、各評価地点に着目した波源モデルにおけるパラメータスタディ因子の影響分析結果を、
0:22:10	右側にはそれを踏まえた評価についてお示ししています。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:14	まず表 12 行目の水位上昇側の評価地点が敷地前面のケースについてご説明します。
0:22:21	1 行目の敷地前面への影響が大きい基準断層モデル、1-1 から 1-5 について分析した結果、
0:22:27	影響が順に小さくなる傾向があることから、パラメータスタディの実施方法は、網羅的な検討として妥当と評価しました。
0:22:35	また、2 行目の敷地前面への影響が小さい基準断層モデル、3-1 から 3-3 について分析した結果、
0:22:43	大瀬力の位置とライズタイムの影響が同程度ではありますが、すでに敷地への影響が大きい滑り域の位置を複数ケース選定済みであることから、
0:22:52	パラメータスタディの実施方法は、網羅的な検討として妥当と評価しました。
0:22:58	次に共産 4 行目の水位上昇側の評価地点が、取水槽のケースについてご説明します。
0:23:05	3 行目の取水槽への影響が小さい基準断層モデル、1-1 から 1-5 及び 4 行目の取水層への影響が大きい基準断層モデル、3-1 から 3-3 について分析した結果、
0:23:17	ライズタイムと破壊伝播速度、破壊開始点の影響が同程度であることを確認しました。
0:23:23	そこで、分析結果の *4 として、表左下にし、記載した通り、
0:23:28	水位下降側と違って、水位上昇側の津波高の評価では、ライズタイムが短いほど津波水位が大きくなる関係は、破壊伝播速度、破壊開始によらないと考えられるため、
0:23:39	パラメータスタディの順序によって選定されるケースが変わるという可能性は低いと評価しますが、
0:23:45	念のため影響が大きい複数のライズタイムを選定し、追加解析による影響確認を実施しました。
0:23:52	その結果、選定ケースが変わらないことを確認しました。
0:23:56	最後に表 5 行目の水位下降側の評価地点が取水塔のケースについてご説明します。
0:24:02	取水等への影響が大きい基準断層モデル、2-1 から 2-3、4-1 について分析した結果、
0:24:09	ライズタイムと破壊伝播速度、破壊開始点の影響が同程度であることを確認しました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:15	そこで、パラメータスタディの順序によって選定されるケースが変わる可能性があると評価し、
0:24:20	影響が大きい複数のライズタイムを選定し、追加解析を実施しました。
0:24:25	その結果として選定係数を変更しております。
0:24:28	なおこちらについては前回審査会合にてご説明しております。
0:24:32	52 ページから 56 ページには、今ご説明した五つのパラメータスタディ因子の影響分析の詳細についてお示しております。
0:24:41	57 ページをお願いします。
0:24:47	57 ページは、前回会合資料の再掲ですが、水位下降側のライズタイムのパラメータスタディにおいて影響の大きい複数のケースについて、
0:24:57	さらに破壊伝播速度及び破壊開始点のパラメータスタディを実施者結果を基準断層モデルごとに整理してお示しています。
0:25:06	薄い青のバーは当初検討における詳細パラメータスタディ結果の最大値、
0:25:11	濃い青のバーは、追加検討における詳細パラメータスタディ結果です
0:25:15	より網羅的に検討した結果、一部の基準断層モデルにおいて選定されるケースが変更となりましたが、
0:25:22	ライズタイムの違いによって、破壊伝播速度、破壊開始点のパラメータスタディ結果は大きく変わらないことを確認しました。
0:25:29	こちらは前回会合でご説明した通りです。
0:25:33	58 ページには、水位上昇側の取水層に関する基準断層モデル、3-1 から 3-3 のパラメータスタディについて、
0:25:41	59 ページには、水位上昇側の取水層に関する基準断層モデル 1-1 のパラメータスタディについて、57 ページと同様に、ライズタイムのパラメータスタディにおいて影響の大きい複数のケースに対して、
0:25:55	さらに破壊伝播速度及び破壊開始点のパラメータスタディを実施した結果を基準断層モデルごとに整理してお示しています。
0:26:04	水位上昇側では、いずれの基準断層モデルにおいても、選定されるケースは、ライズタイムが最も短いケースとなり、変更がないことから、
0:26:13	ライズタイムが短いほど津波水位が大きくなる関係は、破壊伝播速度、破壊開始点によらず、水位上昇側の取水層のパラメータスタディの順序によって選定されるケースが変わらないことを再確認しました。
0:26:27	最後に、60 ページには、検討波源モデルD基準断層モデル、3-1 から 3-3 の概略パラメータスタディ結果の選定ケースをお示しています

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:38	パラメータスタディ因子の影響分析の結果、検討波源モデルDの滑り域の位置とライズタイムの変動幅を同程度ですが、
0:26:46	左側の東海地域の滑りが1ヶ所のケースの表中の黒太枠で示す通り、
0:26:53	すでに敷地への影響が大きい滑り域の位置を複数ケース選定済みであることから、
0:26:59	パラメータスタディの実施方法は、網羅的な検討として妥当と評価しました。
0:27:04	61 ページはパラメータスタディ結果の一覧の再掲です。
0:27:09	62 ページは、4 章、内閣府の最大クラスモデルとの比較による確認です。
0:27:16	設定した波源モデルと内閣府の最大クラスモデル等を比較して示すとともに、滑り量分布の設定の違いが評価結果に与える影響について、定量的な分析を行いました。
0:27:28	その結果敷地の津波評価は、内閣府の最大クラスモデルのパラメータを含めた検討になっていること。
0:27:35	その上で、敷地への影響の観点から、不確かさを考慮したものとなっていることを確認しました。
0:27:42	63 ページ、64 ページには、内閣府の最大クラスモデルとの比較の詳細になります。
0:27:49	65 ページからは、プレート間地震を含めた人による津波の評価結果のまとめです。
0:27:55	66 ページには、地震による津波の評価結果の一覧。
0:27:59	67 ページにはプレート間地震の津波評価結果を示しています
0:28:04	資料の説明は以上になります。
0:28:12	規制庁地震津波審査部門の鈴木で再説明ありがとうございました。
0:28:17	コメント回答としては大きいのが、全体の論理構築の話と細かい話が、
0:28:25	詳細パラスタの方ですね、これが網羅的に行われていて、
0:28:30	敷地への影響が大きい波源が選び切れているかという。
0:28:34	2. 何
0:28:36	けれども、
0:28:38	ちょっとその前者の方が、
0:28:40	前回からの何とか使用前仕様というかどこが改善された。
0:28:46	結果今、今こうなってますっていうのはあるんですけど、
0:28:50	どこが改善されたか。
0:28:53	どうですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:55	コメント回答、
0:28:57	du
0:28:58	ページから、
0:29:01	始まっ。
0:29:05	12 ペイジー
0:29:08	もう、
0:29:10	いる。
0:29:11	前回は、まず痕跡再現モデルの検討だ本編に小というものがあって、
0:29:17	もともと御社が遠州灘沿岸の痕跡作業モデルを作って検討を進めていてそのあとに、そもそもとして広域の
0:29:27	影響というか、そういうものは、まず押さえてからだろうというコメントがあって、南海トラフ広域の痕跡再現モデルってのは後から出されましたと。
0:29:37	その関係もあって一応波源検討波源モデルの番号づけとしてはA、Bと。
0:29:44	広域がCという形になってるんですけど、
0:29:47	これを、これは過去の会合でも言ってましたけれどもまずは、
0:29:53	放映です。
0:29:56	南海トラフ全域で一番影響が大きかったもの、これをベースに、
0:30:01	既往最大地震のものを検討して、
0:30:05	議論の過程は順番逆です。
0:30:09	まずそこを先に持ってきてそのあとにより敷地に大きい影響が大きいものは何だというふうに作りますと。
0:30:15	ここが入口の整理が1点目という。
0:30:20	ですねこれに応じて後の話なんか、組み立ての仕方が変わってくるわけ
0:30:25	だけど、
0:30:26	まずはここを変えたってところが一番
0:30:33	はい。中部電力の盛です。今鈴木さんがおっしゃっていただいた通りで、22 ページ章構成の返照変更にはなっておりますけれども、前回、
0:30:42	経緯を踏まえて、追加してきた、左側の青、緑の方ですね、南海トラフの痕跡広域の痕跡再現モデルと、検討MCをそれぞれ、もともとあったモデルと並列に置いていたと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:55	いうところを、今回、まずは、既往最大のモデルというのを広域で参詣するモデルというのを検討した上で、さらに、より敷地への影響が大きいモデルと、
0:31:05	ということで、青色の、
0:31:08	敷地主義の津波影響特に考慮した検討励む設定ということで、検討していくというような流れに修正しているというのが
0:31:17	資料構成の変更点とともに、検討波源基準断層モデル設定の変更点でも、こちらがメインになっております。以上です
0:31:27	はい。
0:31:28	ありがとうございます。はい。で、その上で、ただ、検討波源モデルの、なんていうか番号付けというかABCDの番号付けは、多分これを、
0:31:38	組み替え始めると、これまでの結果とか県議論との継続性というか、
0:31:46	例えばこれを広域のものをもってしてしまうと今までの全然入れ替わってしまうわけですね。
0:31:52	一応そこはABCDの番号付けは変えないけれどもっていうところで、
0:31:57	確かにそこはそこを変えてしまうと。
0:32:00	なんていうか、
0:32:02	これまで検討波源モデルAと言ったのは、
0:32:05	いや今後は幾つなんだ、Bになります。Bと言ってたのがCになります
0:32:10	いうふうになるので、そこは変えないっていう
0:32:17	はい。
0:32:18	そうすると広域のものが出発点になってそのあとに、ということになるんですけど、
0:32:27	例えばこの24ページとかです、これ、後の後の方では別のページでも説明は入るんですけど、
0:32:36	検討波源モデルCがありました。
0:32:40	で、
0:32:41	それに対してということで、この特徴を反映しますということで、
0:32:47	22ページのぐらい分呉
0:32:52	内閣府2022の手法を参考に設定の下に括弧書きで、
0:32:57	取水槽への影響の大きいモデルを設定する観点から検討アベモデルCの町を滑り域の深さを反映って言って1、
0:33:04	いるんですけど、
0:33:06	もともとこれは、
0:33:08	一応概略パラメータスタディまでやった結果、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:11	これまでの議論の経緯ですよ。結果、基準断層は検討はモデルAと検討案でも出るし、比較したら、
0:33:18	これ取水層への影響検討波源モデルの椎野が大きいですよ。で、
0:33:22	波源モデルDができたってのはもともとの経緯ではあるんですけど、
0:33:26	一応全体の話を組み替えて、
0:33:29	その手前の
0:33:30	基準断層モデルの設定の手前ですよ、検討アンドウモデルを設定しますという、この段階では検討アベモデルDに、
0:33:39	取り入れますという話になるんですけど、
0:33:43	この話は、先ほどだと何ページいったかな。はあ。
0:33:53	36 ページですかね。
0:33:58	一応ここで地殻変動の、
0:34:03	範囲とかですね大きさとかっていうのは出してはいるんですけど、
0:34:08	ここの断面で、
0:34:10	その何なんていうか、利益される津波の押し波とそれによる、
0:34:14	流入の継続時間がない。確かに、
0:34:17	100 エンドウの範囲とかここまで全体のPETすると、
0:34:21	大石忍時間とか比木時間とか長くなる周期が長くなってっていうのは、イメージとしてわかるんですけどこの段階で、
0:34:28	取水総務上昇側だけ。
0:34:30	提供しますて、何かそこまではっきり、
0:34:34	いえるんですけど。
0:34:37	今、37 ページだと確かにこれは結果のチェックですけどね、チェックとしては、
0:34:44	こういう、
0:34:45	検討波源モデル種の特徴を取り入れて、検討上げモデルDを作ったところ、
0:34:50	検討波源モデルAよりも、影響大きいものができましたという、これチェックとしては別にいいんですけど、
0:34:56	今の段階で、下降側まで含む方は、やっぱり特徴としては出てこないんですよってそこんところまで、
0:35:05	綺麗。
0:35:06	るんですけど。
0:35:14	はい。中部電力の森です。そうですねちょっと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:19	結果論になってしまってるところもあるかもしれないので再度検討させていただきます。
0:35:24	ちょっとイメージとしては下降側ーTPー6メートルを切るか切らないかというところがまずありますので津波自体は大きくないとまずそこまで。
0:35:36	切るところまでいかないということもあって、単に主義がという話だけではなくて、
0:35:42	水位低下の最大低下量も重要だろうということで考えておりました。で、
0:35:48	取水槽については、押がどれぐらい続くのか、
0:35:53	結局、小さい間とってきますので、津波の水位が高い低いというよりはもう損失で配慮が決まってくるとうところがあるので江藤をシノ時間がどれだけ長いかが重要だろうということで、特に、
0:36:05	取水槽への流入継続時間が長くなるので、取水の水位が高くなる可能性があるというふうにはここではちょっと書かさせていただいております。以上です。
0:36:17	はい。
0:36:18	ねえ。今の話でいうと、本編資料、今日説明なかったですけど本編資料の、
0:36:25	120 頁 425 倍かな概略パラメータスタディをやった結果、
0:36:33	124 ページは上昇側なんで、コメント回答の 37 ページと似たようなものだったんですけど、その中で最大のものは抜き出しているんですけど、
0:36:43	編の 125 ページを見ると、
0:36:47	あれかな。
0:36:49	検討波源モデルへの、さらに概略パラメータスタディのときに、東海地域に、
0:36:54	2ヶ所に分割しますよね。
0:36:57	こういうやり方をやった結果は確かに、検討波源モデルCを、
0:37:02	当然上回るんですけどスイテイカジ間ですね。
0:37:05	ただ同じように
0:37:07	このまだ検討概略パラメータスタディ入る前ですよ。
0:37:11	検討波源モデルのABCDを作ったような段階で、
0:37:16	まだ、
0:37:18	滑り域を2ヶ所に分けるっていう話をしてない。
0:37:21	段階ですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:22	東海地域南海地域 1ヶ所っていう検討アベモデルCと、検討波源モデルAの東海地域 1ヶ所に置いた。
0:37:31	基本のものですよね。
0:37:32	それと比べると、検討波源モデルCの方が固定化時間、まあ、長い。
0:37:37	これも結果論なんですけどね。
0:37:40	江原に東海地域 2ヶ所に分割するっていうやり方、これも後で聞きますけどね。
0:37:45	それまでやると確かに、検討波源モデルCよりは、エンドウアンドウモデルの方は明らかに低下時間が長いルート、
0:37:53	この入口の検討の段階でここまで、
0:37:56	切ってるんものかなってところが、
0:37:59	なので、ちょっとどういう検討されたかっていうのを今すいませんお聞きした次第です。
0:38:05	にしても全体を組みかえて、
0:38:08	早い段階で、検討波源モデルCベースに、その特徴を検討波源モデルA、
0:38:14	長野、
0:38:15	こっちに取り入れるっていう、モリ構成にするんだとすると、
0:38:19	ちょっと話の整理をして、
0:38:21	少し、資料の見せ方っていうのは、
0:38:25	わかりやすいかなと。
0:38:29	はい。中部電力の盛です。承知いたしました。ここで取水槽と書かさせていただいたところは特にというつもりで書いてますので、周期が影響するという意味では、加古蒲生同様だというふうに思っております。
0:38:41	ちょっと記載は、社内でも再検討させていただきたいと思います。
0:39:50	はい。
0:39:51	もう1、
0:39:54	1点目がまた 24 ページの全体のフローとる。
0:40:01	と、
0:40:03	後半ちょっと本編資料も使いながら確認するんですけど、
0:40:10	今このやり方で、広域を述べ、そのあと敷地に影響を考慮して、
0:40:15	飲酒等以外に着目します。その中に今
0:40:20	検討波源モデルCの特徴を取り入れて、
0:40:25	より深いところまで超滑り域を設定する検討アベモデルDができましたと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:30	だったんですけど、
0:40:31	もう1点の敷地への影響を考慮しては生計を作るときに、
0:40:37	残る残りは分岐断層に伝播するモデルですっていう、
0:40:42	一応、これはどちらかという本編に書かれているかどうかになるんですけど、
0:40:46	敷地への影響を考慮したときに、このAとBとD、この三つで、検討として私は事足りてるんですけどっていうのは、
0:40:55	どこを見ればわかりますかね。
0:40:57	いや、結果できたものがこれだっていうのはわかってるんですけど。
0:41:01	今、何をどういう、検討波源モデルを作った、これはAとB、Cとでいいですっていう結果わかってるんですけど、
0:41:08	これで検討としては、
0:41:10	答えています。十分ですっていう話は、
0:41:13	これわあ、コメント回答の中には、
0:41:16	そこまで細かいことも書いてないかも。
0:41:19	ここは、
0:41:22	本編の方を見ればいいですか。
0:41:38	はい。中部電力の永松です。
0:41:41	衛藤。
0:41:42	その件に関しましては旧本編の91ページ。
0:41:48	を見ていただきますと、
0:41:52	はい。
0:41:54	この91ページ92ページのあたりがですね東北沖型のMw9クラスのモデルを設定するその滑り量分布の特性化方法として、
0:42:04	土木学会2016と内閣2012か、まず、大きく二つありますよということ。
0:42:09	があります。
0:42:11	と、あともう一つ、そのAとBという観点ですと、そのもう少し前
0:42:18	ですね。
0:42:22	78ページですかね、78ページの方で、
0:42:26	南海トラフのプレート間地震の破壊形態、その特徴を踏まえてプレート間、
0:42:31	プレート境界浅部に破壊するものと、
0:42:34	あと分岐断層に破壊が伝播するってこと言われているのでその大きく分けて2種類を検討するということで、大きく分割するとその、
0:42:43	モデル設定。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:44	滑り量分布の設定の仕方と、浅部の破壊形態ってことで、これで網羅的な検討はしていると評価しているんですけどちょっとその辺がそれで網羅してるっていうものが、少し、もう少し表なりで見えるようになるといいのかなと今、
0:42:59	お話を伺って思いましたので、
0:43:01	ちょっともう少し見えるようにさせていただこうかなと思います。
0:43:06	はい。
0:43:07	岸都築です。はい。
0:43:09	谷本編のカツラ 90。
0:43:11	Bとかってこれもう完全に検討波源モデルDの設定のところですよ。
0:43:16	私、分岐断層例えば本編の 7078 のところで、
0:43:22	検討波源モデルBとか、
0:43:25	後々出てくるDとかが必要になると、それが必要だっていうのはもちろんわかるんですけど、それ、十分だという部分ですよ。そこがすいません分かるようにしていただきたいというのが、
0:43:35	です。
0:43:37	はい。
0:43:42	はい。中部電力の盛です。趣旨は理解いたしました。
0:43:47	コメント回答の今の 24 ページのところ、三つモデルが出てきてるとDですね。で、
0:43:55	それぞれBは南海トラフの特徴として分岐断層を踏まえたケースで、Dっていうのは、
0:44:03	というかそうですね。Aに対して、既往最大地震の津波特性を考慮したモデル。
0:44:09	で、もともとのAっていうのは、M9 クラスの 3.11 の特徴を踏まえたモデルというふうになってますので、ちょっとその登場人物がどういうものがいて、どれ、それがどういうふうに着目されているのかというところがわかるものを、
0:44:23	作りたいと思います。ちょっと補足に似たようなものはあるんですがちょっと今その趣旨にぴったりのものにはなってませんので、1 回整備、整理させていただきたいと。
0:44:36	はい。
0:44:40	しますかね。
0:44:42	すいません一旦この 24 ページで言うところの一番左側、
0:44:47	検討波源モデルの設定と、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:50	言われる部分で、他に何か、
0:44:55	後で戻ってきても結構です
0:44:58	いいですか。
0:45:02	本編とかもあるんで、すいません。
0:45:04	金アノ後ということで、
0:45:09	宇井じゃそうすると、
0:45:11	ちょっと一旦基準断層モデルの設定とか概略パラメータスタディですね。
0:45:17	この辺の話なんですけど、
0:45:22	当日本海溝の手法を用いたモデルとの比較、これは、
0:45:27	今回、
0:45:29	入口の整理をですね、広域とあとその遠州灘のところの整理を、
0:45:36	だ結果、日本海溝の趣向を用いたモデルとの比較というのは、
0:45:41	これは概略パラメータスタディでやった結果、
0:45:44	敷地への影響が大きかった。検討波源モデルAとD、そのあとと言ってみれば基準断層モデル。
0:45:52	選ぶものですよね。選ぶものに対して、
0:45:55	行います。
0:45:57	ということで、前回までだと検討波源モデルCとかも含めて、ずっと
0:46:02	概略パラメータスタディを行ったもの。
0:46:06	行うものか、行うものなのかな。
0:46:09	その段階で比較をしていたんですけどそこを変えてきたと。
0:46:14	ちょっとそこら辺も何か使用前仕様があんまりよくわからなかったんですけど、前の資料を見るとですね、当時は一応検討波源モデルCとの比較もしてたんだけど、
0:46:24	そもそも、
0:46:25	検討波源モデルCの扱いというか位置付けというか
0:46:29	そこがしされたんで、
0:46:31	敷地への影響が大きい。
0:46:33	概略パラメータスタディまで大きいのがわかっているAとDについてアリマ比較しました。
0:46:39	ということですか。これは、
0:46:43	はい。中部電力の盛です。おっしゃる通りです。
0:46:47	41 ページのところ、基準断層モデルとしてどれを選んだかということで、上昇側で 42 ページに下降側を記載しています。で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:57	今回C、
0:46:59	それ以外のABの扱いというのを明確させていただいて、Cも取り込んで、Dを作っていると、というような位置付けを再整理させていただきました。で、
0:47:10	Bも含めてなんですけども結局その基準断層モデルとして影響が大きいものということで選んでるのがAとDになっていますのでこと、
0:47:18	日本海溝のモデルというものを比較していくというところを明確化して変更していおります。
0:47:25	以上です。
0:47:31	はい。
0:47:32	そうすると4、コメント回答の43ページですかね。
0:47:38	検討、比較のオオモトになるものが検討モデルAとDです。比較対象が、
0:47:45	日本外交津波評価手法モデル010203。
0:47:49	このマーク①②③がそれぞれどういう特徴を持ったど、
0:47:55	ものなのかと。
0:47:57	なぜこの①②③が比較対象になってるものですかということそれは何か上に、
0:48:03	これまた補足説明資料に飛ぶんですかね過去の。
0:48:08	一応結論として45ページのところ見ると、
0:48:12	一応、内閣府手法を用い、既往最大、地震の広域の津波特性を考慮した検討波源モデルCの特徴も取り入れて設定した。
0:48:22	検討波源モデルA、Dはということで、
0:48:29	これを日本海溝の津波評価手法モデルとの比較で、
0:48:34	このなんか広域の津波特性を考慮したとかっていう話が、
0:48:39	出てくる。
0:48:41	さらには、
0:48:43	もっとほそ食う。
0:48:46	当日これ会合のときに補足資料が何かフルセットで
0:48:50	アンドウ
0:48:50	けど、
0:48:51	コウノ資料だと、本編に行けばあるのかもしれないですけどちょっとこの検討、日本海溝のモデル123というのが、
0:49:00	それぞれどういうところで、どういう特徴を持ったものか。
0:49:04	おそらくこの日本海溝の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:07	モデル1ですかね、これが、
0:49:10	一応あれかな土木学会と同じように多分3倍域をかなり広いところまで取って、
0:49:16	検討波源モデルCに近いような、
0:49:19	多分要素を持ったような、
0:49:21	もうWEBだったように、
0:49:25	過去の記憶なんですけど、
0:49:30	その検討波源も、津波評価モデルか、日本海溝野瀬評価モデル内これから検討波源モデルCのように広域の、
0:49:39	に影響あるようなある程度
0:49:41	パラメーターの特徴を持っていて、
0:49:44	そういうものとも比較しても、
0:49:47	こうなので、従って結論が、
0:49:50	やはり
0:49:52	検討波源モデルCの特徴も取り入れてるんで、
0:49:55	こういう比較結果になりましたっていう話になるんだと思うんですけど。
0:50:00	と比較元と比較先というか、比較先のものが、そのどういう特徴を持ったものを選んでるんでこの結論にいくのかっていうのが、ちょっとこのコメント回答とか、
0:50:10	辺にいくとその辺がはっきりわかりますかね。
0:50:13	そこら辺も、
0:50:15	今までは前回オク検討波源モデルCがあったんで、それと多分日本海溝の評価モデル01と、
0:50:22	ある程度対比させるような形で比較をしていたんだと思うんですけど。
0:50:28	種モデルCが別に残せという意味ではなくて、落とすんだとすると、
0:50:32	この2対3の比較ですね、これがちょっとどういう意味を持つ比較になるのかっていうところ。
0:50:38	ちょっと資料から見えてこないんで、
0:50:54	はい。中部電力の盛前回の審査会合の資料の中では①を広域に着目したモデルで、②③を敷地周辺に着目したモデルというふうに一応振り分けてはありました。
0:51:09	で、ただ当社が設定したモデルではないのでちょっと位置付け、
0:51:16	どういうものかというのはなかなか書きづらいなというところもあって、今回は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:23	基準断層モデルそして選定した当社の市、浜岡に影響が大きいモデルと123をすべて
0:51:32	比較対照として上げたというような整理にしています。で、
0:51:36	ちょっとどのような位置付け、
0:51:38	にさせていただくのがいいのか、当社の分析として波源、
0:51:43	モデルの
0:51:45	位置付けみたいなものを、123についてちょっと整理した方がいいのか、
0:51:50	もうモデル、手法として123の手法があるので、それを並べさせていただくと、選んだものと、日本海溝側で検討された123を並べた方がいいのか。
0:52:00	いうところちょっと、迷ったところもありまして今回はアノヘレースに、
0:52:04	すべて比較対象として並べさせていただいたという立て付けにしています。
0:52:09	平常水ですが、もともと日本海溝の津波評価手法モデル123これがどういう意図でつくられたかを勝手に御社が
0:52:19	等ですね、書くっていうのはおかしかろうっていうのはおっしゃる通りかと。
0:52:23	ですけど、ただこれを比較対象にする以上は、
0:52:26	どういう意味があって比較しているのかってのはこれは御社が判断っていうか、考えることになるので、
0:52:34	当然この1と2と3を選んで比較する以上は、
0:52:37	多分この1はこういう特徴を持ってるだろうから比較します。伊藤さんはこういう特徴を持ってあるだろうから比較しますっていうのは、これはあるはずだと。
0:52:46	こちら辺は、はっきり言って御社の、
0:52:49	比較する意図は、別にそれは変えて構わない話だと思いますけどね。
0:52:54	もともと検討波源モデルABCDを作る時にはBはあまり関係ないかもしれませんが、
0:53:00	こういう3倍滑り域をかなり深いところまで持ってたらどうだ
0:53:06	とか、4倍滑り域を浅いところに
0:53:10	全体に広げる敷地
0:53:11	前面、
0:53:13	広げるとどうなる、どういう影響がある。
0:53:15	っていうのは、これABCD作る時に、当然御社を分析してる話だと思うので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:21	はい、事務連絡アマンでございます。おっしゃる通りでちょっと補コメント回答の 43 だけだと、今、
0:53:29	鈴木さんおっしゃられたような、日本海溝の津波評価モデル 123 が、モリ説明者にぜ、前回までは、少し特徴も加えていたんですが、検討波源モデル、
0:53:40	基準断層モデル決めるところで比較しているもんですから、その傾向よりは、全部っていう思想でしたけど、
0:53:48	当然 123 がどういものかっていうのがここで読めないと、充足感があるかっていう先ほどの話とも関わってくるので、
0:53:56	どういったこれがどういう考え方で作られたかってのはコメント回答の中でも、一定程度わかるようにして、他所より詳細なところは補足に飛ぶような、
0:54:08	構成で考えたいと思います。
0:54:13	はい。おっしゃるように下限モデルAと、これを比較するとか、PとBと比較するのはこれだけとかっていうそういう縛りをつける必要はないっていうのは、おっしゃる通りなんで、
0:54:25	全体で比較しますっていうのは結構なんですけど、
0:54:29	はい。
0:54:32	どうしますか。この概略パラメータスタディ、
0:54:38	のところまで、コメント回答。
0:54:59	はい。慶長佐口です。
0:55:01	ちょっと何点か確認をさせてください。
0:55:06	まずごめんなさい、資料構成の話を最初にさせていただきたいんですけど。
0:55:10	あくまでも、これ今回はプレート間地震の津波評価のコメント回答ということなんですけど、
0:55:15	例えば 8 ページぐらいから、
0:55:18	これ、基準津波策定の評価が欲しい
0:55:22	今日ご説明はなかったんですけども、
0:55:25	20 ページぐらいから多分御説明で始まってて、
0:55:28	あと 11 ページ目、海洋プレート内、
0:55:32	あと何か内陸地殻内とかそういうのもありましたね。
0:55:36	ていう。
0:55:37	まずこの辺って、
0:55:39	このプレート間地震の、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:42	津波評価のコメント回答として、まず資料としてこれっっているんですか
0:55:47	今日今日実際にご説明もされなかったんですけどその辺ちょっと、
0:55:56	はい。中部電力の盛です。全体見えた方が議論の際に使う可能性もあるということで載せさせていただいています。で、本資料の構成としてはタイトルに記載をしました通り最終的に地震による津波、
0:56:11	そして1度まとめがあることもちょっと見据えた上で、地震による津波のうちプレート間地震の津波評価についてというタイトルでのコメント回答とさせ、今回させていただいています。で、
0:56:22	4ページ目に本日の説明内容ということで資料の、このコメント回答資料の内容を記載しておりますけれども、
0:56:33	その他地震の方でもつけさせていただいたのと同じ、地震による津波の全体概要というのをまず、つけた上で、そのうち、地震による津波の中でも、プレート間地震のコメント回答を付けるというような、
0:56:45	ちょっと構成で、本日は、資料パッケージ化させていただいております。
0:56:53	はい規制庁佐口ですということはこれ、本番の会合でご説明されるという理解で。
0:57:04	はい。中部電力のモリサノ時間の都合もございます。あるとは思いますがけれども非常に応じて説明させていただきたいと思います。
0:57:12	はい規制庁昨日わかりました。ただそれによってプレート間地震の、
0:57:17	津波評価、
0:57:18	というものを議論する。
0:57:20	呉場であったのにもかかわらず、
0:57:24	例えば、
0:57:26	よく
0:57:27	海洋プレート内地震との組み合わせどうするのか。
0:57:30	そんな議論に、
0:57:32	なる可能性もあるっていうことを、そこ、よろしいですね。
0:57:40	アマノでございます。佐口さんおっしゃる通り、ちょっと、
0:57:43	ここ最近、海域の活断層だとか海洋プレート内地震の津波の時に全体像、見えた方がよからうと思ってそちらの方につけておりますけど、
0:57:53	今回、
0:57:56	プレート間地震のところをしっかりとご議論いただきたいという意味では、特にこの中で海洋プレート内とか活断層を説明したいわけでもなく、今まで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:07	ここ至近の審査会合でご説明申し上げておりますのでちょっとこの概要は、
0:58:12	重畳かなとも思いますので、
0:58:16	このプレート間のときには少し割愛させていただきたいなと思います。
0:58:21	はい規制庁佐口
0:58:22	もう天野さん今おっしゃった通りですね、
0:58:26	まず、このプレート間地震の津波評価というものにまず注力していただきたいというのが私の少なくともお願いというのが、趣旨です。
0:58:35	で、
0:58:37	あとですね。
0:58:39	これ、
0:58:40	今日見させていただいた部分で、何か 22 ページとか 23 ページご説明ありましたんで 24 ページで一覧表じゃないですけど多分これが、
0:58:49	全体をぱっと比高、
0:58:52	一目見てわかる資料になっていると思う思っているんですが、
0:58:58	ここでやっぱりちょっと教えていただきたいのは、結局、
0:59:02	コメントとしては、
0:59:05	何も、
0:59:06	1 部分だけ
0:59:09	言ってるわけじゃない
0:59:11	これは、
0:59:12	この
0:59:13	痕跡再現モデルとか、検討波源モデル。
0:59:17	これらも含めて、一度体系的にどうなんだというところを再構築というか再度整理をしてくださいというのが、
0:59:25	コメントの趣旨ですので、
0:59:28	そういった意味で、まず、
0:59:31	広域と、
0:59:34	御社が言う、
0:59:36	生態する沿岸域
0:59:37	っていう話なんですけど、結局、これ、
0:59:40	最初の、
0:59:42	痕跡再現モデルというのは、
0:59:46	土木学会、
0:59:47	もしくは内閣府 2012 という、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:51	手法の違いによって、
0:59:53	分けられている。
0:59:55	という理解でいいんですかね。
1:00:04	はい。中部電力の盛です。江川真木様最大地震をさの津波特性考慮するモデルで、下側それに対してより敷地への影響を考慮するモデルというふうに今回位置付けています。
1:00:17	で、そのモデルの作り方については、前者の上側の方は、広域の津波特性が考慮できる土木学会をM8m級それぞれ使っておりますし、
1:00:29	下側の生態する方は、内閣府の手法を参考に設定していると。手法としては上と下で分けてございます。位置付けとしては紙上から下を
1:00:41	より敷地への影響が大きいモデルということで整理しております。
1:00:47	規制庁佐口でちょっと言葉足らずだったかもしれないので私が確認したかったのは、
1:00:53	広域の再現モデルと、
1:00:56	それからこの遠州灘沿岸域の再現モデル、この関係ですね、これがちょっと今、
1:01:04	よくわからなくてあくまでも手法に基づいて、
1:01:10	設定をされている。
1:01:12	それとも、もともとの既往最大のものがあるって、
1:01:16	そこから派生するような形でさらに、
1:01:19	敷地の影響っていうものに着目すると。
1:01:24	こういうモデルになっているのか、それとも、繰り返しになりますけれども、あくまでも手法に基づくので、これはパラレルに設定をするのか
1:01:35	その関係。
1:01:36	だけなんですけどそこはどうなってるかちょっと教え
1:01:43	はい。中部電力の盛です。痕跡再現モデルに関しては土木学会内閣府それぞれの手法でそれぞれ設定してますので、そういう意味ではパラレルになっているということです。
1:01:54	はい。規制庁佐口
1:01:56	で、ということなので、
1:01:59	結局痕跡再現モデルっていうのは、これまでの審査の
1:02:04	中では、御社が独自に設定と、
1:02:08	いう形で行っていましたがこれも独自になるのかもしれない。
1:02:12	ちょっと何とも言えない部分あるんですけど、
1:02:14	これをあくまでも手法の違いによって、こう分けて

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:19	という御説明で、
1:02:22	理解しておけばいいということですね。
1:02:30	はい。中部電力の盛です。思想としては、繰り返しになりますけど上が広域の特性を考慮できるモデルで、下側生態するところに、のものを特に考慮できるモデルと
1:02:41	して使っておりますので、痕跡再現については、手法ごとに上と下が制定されているというものです。
1:02:48	はい。規制庁作成でさらに確認をさせていただきたいのは、結局、
1:02:54	この企業最大地震の、
1:02:57	モデルと、
1:02:59	それから遠州灘塩害
1:03:01	この再現モデルと何がどう違うのかちょっと教えてもらって、
1:03:11	はい。中部電力の盛です。細かいことを言うと少しずつ違うんだけど大きく違うのは、滑り域のサイズというか、が広域再現できるような40%なのか、
1:03:22	生態する沿岸域をターゲットにした20%なのかというのは滑りの位置がサイズ感ですね、が大きく違うということです。結果として滑り量
1:03:33	最大滑り量とかも滑りの滑り量自体は大きく、東海域地域の方は変わっていませんので、結果としては滑りのサイズが変わっているモデルになっています。
1:03:46	はい規制庁、佐口です。術利益のサイズというのが、多分ですね、一目で見ると、先ほど盛さんからも
1:03:55	けど、
1:03:56	いわゆる等々海域のところはおんなじなんだけれども、四国沖、
1:04:04	すごくオオキっていうんですかね。南海南海地域について、滑り域があるかないか、それだけの違いということでよろしい
1:04:17	はい。中部電力の森沢の主要な違いは、南海地域のところに押す力がないということござい
1:04:24	はい規制庁佐口
1:04:25	そうするとですよ。結局、この既往最大のものに、この遠州灘沿岸っていうのは含まれるんじゃない。
1:04:32	違いますか。
1:04:35	私何が言いたいかっていうと、既往最大のモデルでは、例えばですね。
1:04:39	当然その敷地の影響を

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:43	十分に考慮できないから、
1:04:45	この下の遠州灘沿岸域のモデルがあると。
1:04:49	いう理解ではなくて、あくまでも、これ、上だけのモデルで十分なんじゃないかと私は思ってしまうんですけど、この絵を見るとですね。
1:04:58	その違いが今、よくわからなくて、
1:05:01	そこをちょっともう1回教えてもらっていいです
1:05:11	はい。中部電力の盛です。
1:05:14	真上側の企業痕跡再現モデルも下側の痕跡再現モデルも、これで津波評価をするというつもりで作ってるわけではなくて、
1:05:24	右側のモデルを作る前提のモデルになっているというものです。で、
1:05:32	27 ページに、もう少し
1:05:37	基準断層モデルの設定を切り出したモデルとして作っているモデルが、ものがあります。で、
1:05:46	結果の先ほど申し上げた通りではあるんですけども、上側の時を最大の宝永地震を考慮したモデルというのは一番左側でいうと宝永地震を全部再現するようなモデルから出発して検討波源モデルCというのを
1:06:00	M9 クラスのモデルとして作っているモデルになります。
1:06:03	で、さらに敷地への影響が大きいモデルを設定するということで、再度、痕跡再現モデルとして、何か考える必要がないのかというところに立ち返ってまして、
1:06:14	そういう意味では平行ではあるんですけども、遠州灘沿岸域の今度横ではなくタテ側のご自身をまず再現するモデルを作っ。
1:06:25	で、敷地への津波影響というのは特に考慮した痕跡再現モデルを作っています。それを基に検討ハイウェイというのを作った上で、Cの影響取り込んだDだとかBだとかっていうのを作るというような形にしています。
1:06:39	ちょっとそういう意味で、思想はそれぞれ違うんです。手法と使った手法は違うんですけども、結果として、上と下の痕跡再現で何が違うのかというところを大きな目で見ると、
1:06:53	滑り域、黄色いところが何か息がないというような結果にはなっております。以上です。
1:07:00	はい。経常昨日本当にそれでいいですかっていうところの、
1:07:04	ちょっと話戻りますけど、あくまでも今回のコメントは、全体として体系的にというところが一つポイントとなっていて、
1:07:13	そうすると、いや、
1:07:16	多分何かしらですね、あると思うんです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:19	いや、わかんないですけど私は、この二つを分ける意味がですね、広域というモデルと、それからこれ 17 円が、
1:07:28	それが今の資料ではやっぱり見えなくて、
1:07:32	そこをきちんとですね、わかるようにまずしていただきたいというのが 1 点と、
1:07:38	結局、実は広域再現モデルって言ってますけど、これって、
1:07:42	いわゆるご自身の
1:07:44	津波痕跡、
1:07:46	再現モデルの、言ってしまうと全国は、
1:07:49	ていうだけなんじゃないのっていうのが正直なところで、
1:07:53	後ろの方が近辺でもいいのかな、本編見ていくとわかると思いますけど、これ宝永地震っていうのを再現するだけだと。
1:08:03	別に当会議にこんな大きな大洲をすべき置かなくても、
1:08:06	いいんですよっていうのが正直な
1:08:09	そうすると、宝永地震は確かに、
1:08:13	これで再現できるんだけど、
1:08:15	そうするとサイトウを見ると、
1:08:17	これでは十分じゃないので、
1:08:19	なので、この今遠州灘沿岸もご自身ご自身とって、結局、特にサイトにとって影響が大きかったのは、
1:08:29	これ安政東海かな。
1:08:32	安政東海地震の、
1:08:35	津波だと思っているんですが多分どっかに資料あったのかな。
1:08:39	本体の方がいいのかな。
1:08:42	と思うんですけど。
1:08:44	だから、当然ながら、
1:08:46	そういうのも、
1:08:48	含めて考えると、今のこの遠州灘再現モデルというのが、
1:08:53	確実に必要になってくるというご説明だ。
1:08:56	ただまだ、
1:08:58	わからなくもないんで
1:09:00	と思う。
1:09:01	何か今は、
1:09:03	うん。
1:09:04	おんなじ基本的には同じモデルなんだけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:07	何か駅にもう術力があるなしだけですって説明されちゃうと、
1:09:12	だったら別に
1:09:14	広域モデルだけで十分じゃない。
1:09:16	で、
1:09:17	なっちゃうんですけどね、その辺りやっぱ体系的に少し
1:09:21	きちんと整理をしていただきたいんですけど。
1:09:23	はいですか。はい。チームで願うものでございます。おっしゃることよくわかってまして、ちょっと補足させていただきますと、もともと
1:09:34	広域の再現モデルっていうのは当然、何回かも含めて再現をするということをしておりますで、
1:09:44	遠州灘は東海、
1:09:46	沖 5 地震を再現するモデルとタダ子、この時点では実はM8.8 で合わせちゃってるので滑り量分布に多少の差がやっぱり、
1:09:57	あると。大きな違いはモリタニ認識あるかどうかなんですけど、当然東側でも多少の差があるというところがございますで、
1:10:05	コメント回答の 38 ページ。
1:10:09	ご覧いただきますと最終的にそれをもって基準、検討波源モデルというのを作る時にまずM9 に持っていきますのでこの時点で、
1:10:21	当然地震モーメントをその 2 シマで再現したモデルと、ヒガシニワぎゅつと集中させたモデルっていうのは、それぞれ敷地への影響という観点ではヒガシにぎゅつとした方が当然滑り量も大きくなって、
1:10:35	敷地への影響が大きく評価できると一方で、Mが一緒っていうことにし滑り分布が大きく置いてある部分、少しどうしても影響小さくなるっていうところもありまして、
1:10:48	今日ご説明したように、深い方の影響をDに取り込むということをやっているんですけど、その痕跡再現モデルのところの思想が、佐口さんおっしゃられたようなところちょっと、
1:10:58	読み切れないと書ききれないなのでこの辺、しっかり論議を入れたいと思います。やってることとしては、ご理解いただいている通りのことをしっかりやってるつもりですので、読めるようにしたいと思います。
1:11:11	はい規制庁佐口ですその辺はよろしく願いますあくまでも 24 ページに戻りますけど、
1:11:17	これ、
1:11:19	別に、
1:11:20	広域モデルから、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:24	検討波源モデルAに行ってもいいんじゃないのとかって、
1:11:29	そういう話も多分あるのかもしれないんですけど。
1:11:32	そこはきちんとですねわかるようにいや、そうじゃなくって、そもそももうこの演習など沿岸域のこの津波痕跡再現モデル、これが必要なんだと。
1:11:42	いうところをきちんと整理し
1:11:44	いうのと、もう1回ごめんなさい、コメントが24ページに戻りますけれども、
1:11:50	この、
1:11:51	一番上の、
1:11:53	東北沖地震において巨大、巨大津波が発生した要因。
1:11:58	マルA0Bを反映。
1:12:00	で書かれてますけど、これは、
1:12:03	今モデルCにも、モデルAにも、
1:12:06	反映すると。
1:12:08	いう矢印になっているって理解してよろしいです
1:12:17	はい。中部電力の盛です。はい。おっしゃる通りです。
1:12:21	M9クラスのモデルを作る前のモデルとして、既往最大地震の痕跡再現モデルと、ご自身の再現モデルとかありまして、それぞれに対して、
1:12:31	東郷基地震において巨大津波が発生した要因としてAとBを考慮すると、CとAというのがそれぞれできると。
1:12:39	で、それに対してさらに派生モデルを考えていっているというような立て付けでございます。
1:12:46	はい規制庁、佐口
1:12:48	で、そうするとです
1:12:49	ね今度ですね。
1:12:51	特にマルBの浅部の破壊形態っていうのは、蓋パターンっていうかあると思う。思っていて一つは、
1:13:01	一番浅いところに、
1:13:03	非常に滑りが大きくなるようなものを置くっていう、それが多分それぞれモデルCでいくと、多分プレス販売する利益の話になるんですかね。
1:13:13	モデル。
1:13:15	でいくと3倍も含めて4倍という
1:13:17	ところだと思うんですけど、
1:13:19	このモデルBに当たるものって、モデルCでは何か、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:26	ここ反映しなくてもいいんですかっていう。
1:13:29	正直な感想というのがですね。
1:13:31	これはあくまでもモデルAに反映させているんで、モデルCには反映する必要がないのか。
1:13:38	でももともとごめんなさいねスタートの出発点はモデルCじゃないですかって考えたときに、
1:13:43	何でモデルCに反映するんじゃなくてモデルAの方に反映するんだってそこ。
1:13:48	考え方を教えてもらってよろしいです
1:13:55	はい。中部電力の盛です。
1:13:57	ちょっとこれも補足に以前、以前ってか今回も今回もというか、前回の資料ではあったんですけども、AとCを比較した時に、の方で影響としては、大きいものが獲られていると。
1:14:10	なのでBを、に対して浅部の破壊形態の不足し、分岐断層への破壊伝播というものを考えることで、Cに対して分岐断層を考えるというよりも滑りの面からも、
1:14:23	代表できているというふうに整理をしております。ちょっと先ほど鈴木さんの、これで網羅的なのかという話とも関連すると思いますので、その辺りは整理させていただきたいと思います。
1:14:34	はい。規制庁佐口ですまさにそう。そのあたりがですね、言葉足らずというか、単純にコウ線だけ引っ張って終わりとかって
1:14:43	ですね、そこはもうちゃんとわかるようにしていただい
1:14:47	て、続けてなんですけど、
1:14:51	どこだっけ
1:14:53	ちょっと。
1:14:53	細かい話になるんですけど、今回
1:14:57	まず、まずモデルCで、モデルAとかBっていう、
1:15:02	位置付けに、
1:15:03	でですね。
1:15:05	ごめんなさいちょっと戻ります 22 ページなんですけど、
1:15:08	あくまでも、
1:15:12	いいのかな。
1:15:18	構成としてはまずだから先に広域モデルが来て、
1:15:27	遠州灘含めたものを、
1:15:30	敷地周辺の津波影響に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:33	を特に考慮したモデルという流れになっていて、
1:15:38	うん。ちょっと確かに、
1:15:40	モデルの名前ですよAとかBとかCとかDとかっていうのを変えるのは、これまでの経緯もあって、大変なのかもしれないんですけども、
1:15:50	そこをですねちょっとお任せしますけれども、今回、一連のものを、
1:15:56	言ってしまうとまとめ資料の一手前というのがまとめ資料にもなるんですけど、その段階で体系的な整理というところで、
1:16:06	Cがあって、書き、
1:16:10	さらに、
1:16:13	Aから、ちょっと待ってくださいよ。BとBとかDなのか、D、D、Dと。
1:16:19	Bなのか何か、ちょっとその辺がごちゃごちゃになってるんで、
1:16:23	24 ページ見るとですね。
1:16:26	Cが最初で、次がAで、そのあとは、DとBという
1:16:31	もう、もちろんこれまでに
1:16:34	つけてきた名前というのものもあるのかもしれないんですけど、
1:16:38	そこは、
1:16:39	考えていただいて、
1:16:40	このままでいくのであれば別に我々も絶対に変えろと言うつもりはありませんけれども、
1:16:48	順番的な話をすると、ちょっとどうかなっていうのでそこは少し
1:16:53	ご検討だけはしていただきたいと
1:16:58	はい。中部電力の盛です。ありがとうございます。ちょっとこのあたり先ほどちょっと杉さんからありますけど、議論中であるのかなというふう
1:17:07	に我々思っ
1:17:07	てましてちょっと議論の最中に、
1:17:07	BニシダBをCにしたりっていうふうなちょっと混乱を招くかなと思って今回は変えておりませんで、最終的なまとめ方、本当のまとめ資料ですね、の時に
1:17:22	変えることは特段問題ないと思っておりますのでそのタイミングで変えさせていただくということ
1:17:22	を注記させていただいたりだと。
1:17:22	ということを、
1:17:23	の方が今回のコメント回答の会合としては良いのかなと今、お話を聞いて思っております。
1:17:31	はい。規制庁佐口ですわかりました最終的にまとめ資料とかタイミングも含めて、
1:17:37	そこはお任せしますので、
1:17:39	検討できるのであれば検討いただき

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:42	よろしくお願ひ
1:18:02	を。
1:18:03	木戸スズキですけれども、阿藤。
1:18:07	ですね。
1:18:08	これ前回から位置付けこれも順番を変えたのかなと思うんですけど、内閣府の最大クラスモデル、いわゆる内閣府の、
1:18:18	県等との比較で一番最後にも、
1:18:23	てるじゃないですか詳細パラスタもやって、
1:18:26	最終の評価結果も出した後に、最終チェック的には、
1:18:31	場所がですね一番最後、コメント回答になってしまう最後。
1:18:35	これって何か変えました。
1:18:49	はい。中部電力の盛です 22 ページで資料構成の変更ということで記載をしております
1:18:58	最後に比較をするということ自体は変わってございませんで、先ほどの見ていただいて、
1:19:06	て言った
1:19:13	62 ページ。
1:19:15	でしょうかね。衛藤。
1:19:18	4 章の、最大クラスモデルの比較による確認、62 ページのところの中のフローですね、当社の津波評価としてどういうふうにステップを踏んでやったのかということ自体は、今回のコメント回答の
1:19:32	先ほどのフローに合わせて変更しております。
1:19:42	編の方
1:19:46	すいませんコメント回答資料だからなのかもしれないですけど、
1:19:53	この、先ほども土木学会 2016 を使うからなのか、その内閣府 2012 億円使うからなのか。
1:20:01	ちょっと仕様上その
1:20:04	どこを内閣 2012 から持ってきたのかとか、
1:20:08	そこら辺がね、なんかあんまり、
1:20:11	よく
1:20:14	見えてなくてですね。だからイマダと最後比較すると、
1:20:22	ちょっと後々本編の時で聞いた方がいいのかもしれないんですけど、
1:20:26	63 ページとかに行くと、これ多分、今回資料組みかえて、
1:20:32	行政機関による津波評価の確認とかっていう項目を足し
1:20:37	削ったんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:39	確かに、相模トラフだとか、千島海溝とか、
1:20:43	日本海溝の
1:20:45	行政機関の評価を、説明されてもですね。
1:20:48	冒頭で、それは確かにいない。
1:20:51	だと思う。
1:20:53	内閣府の最大クラスモデルケース 1 とか、この話って、
1:20:59	今の構成だと唐突に一番最後に出てくるようになるんですけど、ちょっとそこは。
1:21:05	どうなるんですかね。
1:21:08	確か前の公正妥当内閣府の最大クラスモデルっていうのはこういう検討して、こういうモデルづくりがありますっていうのは、
1:21:16	8、
1:21:17	上で、
1:21:20	なんですけど、何か今の構成だと最後唐突に内閣府の、何か最大クラスモデルケース 1
1:21:27	は、63 ページに出てくるような中、
1:21:29	たてつけになっていて、
1:21:32	この辺を見ると、
1:21:34	例えばこの、
1:21:35	地震規模Mw9.
1:21:39	全部
1:21:40	こういうアリマ
1:21:41	あくまで内閣府の、
1:21:43	検討というのは、全く度外視してですね、御社がつくった結果、
1:21:49	たまたま、
1:21:50	この部分 1 マスタまたまこの部分は違います。
1:21:54	いう話なのか。
1:21:56	もともと、
1:21:58	ベースとなっているのは、何か内閣府 2014 どこまでベースにしているのか、っていうのが、なんか一番最後の最後でここ比較が出てくるので、内閣 2012 のですね。
1:22:08	最大クラスの評価が出てくるんで、
1:22:16	ねえ。
1:22:19	ここで急にケース 1 とかなんか、下降側 8 なんですって。
1:22:24	違ったかな。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:25	ちょっと唐突に最後何かこの比較で出てきてしまっていて、
1:22:29	その辺は、今マルマル内閣の最大クラス上げモデルって、
1:22:36	ケース 8 の例とか何か、ケース 1 の例とかって、前の資料にあったような気がしたんですけど。
1:22:42	その辺は丸々落ちたんですかねこれ。
1:22:50	はい。中部電力の盛です。当然補足説明資料前回、ちょっと今回お出ししてないので前回なんですけど、のものはそのまま
1:22:58	まとめ資料にも使っていこうと思っておりますのでそちらに詳細、それぞれのモデルがどうで、その敷地影響がどうでということをもとめ資料の中にも入っていくものと思っています。で、
1:23:10	ちょっと今回、コメント回答の方のスライド順というか、そもそも内閣府
1:23:17	のケース 1 と何で比較するのかっていうようなところが、
1:23:21	前回のものをちょっとそのままつけてしまった関係上で抜けてしまっているんで、まず、これと比べますというような、
1:23:29	検討方針ですねえと。
1:23:30	63 ページのところでちょっと書き、
1:23:33	切れていないところを、もう少し、
1:23:38	どういうモデルがあって、内閣府のまずケース 1、ケース 8 等と比較していきますというのが、
1:23:45	わかるもの、資料に再検討させていただきたいと思います。内容自体が変わってるってことじゃなくて資料構成かと思って。
1:23:54	はい。ちょっとどちらかという後でこの本編資料の方を使って確認した方よかったかもしれませんけど。はい。
1:24:02	どうですかね。はい。
1:24:04	詳細パラスタの部分は、どちらかというところ、もう一つのコメントの方に関係してくる。
1:24:12	うん。ですけれども、詳細パラスタのところに入る。
1:24:17	前でまた何かあります。
1:24:20	受ければ後で戻って、
1:24:39	よろしいですか。じゃあ詳細パラメータスタディで、これが 40、
1:24:45	動的パラメータに関するパラメータスタディタイトルですかね。
1:24:52	46 ページからで、
1:24:55	47 ページ。
1:25:03	47 ページは前回から一部修正とはなってますけど、
1:25:08	巨くう

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:09	概略パラメータスタディをやった上で、
1:25:12	浄水上昇側敷地前面と取水層に分けて、
1:25:18	敷地前面は、検討波源モデルAの基準断層モデル 1-1 から 1-5 で、
1:25:23	薄井層はですね、上昇側の取水層はこれは検討波源モデルDをベースにした。
1:25:28	基準断層モデル 3-1 から 3-3 だと。
1:25:31	で、加古川、あ、これはどちらも、
1:25:36	検討波源モデルAも検討MDもちょっとどちらも影響がありそうなので、両方ベースにして、
1:25:44	それぞれ 2-1 から 2-3 と 4-1 というものを作りましたと。
1:25:48	ここは変えてないですかね体系として一応前回で、
1:25:54	いわゆるこの、下降側、両方入ってくる。
1:25:58	上昇側が全面敷地前面他の取水層って分かりますけど、それぞれどっち。
1:26:04	検討波源モデル。
1:26:07	基準断層モデル 1-1 から 1-5 というのはこれは敷地前面の方ですと取水槽じゃなくて敷地前面ですっていうのはこれ一応整理。
1:26:15	ていてそれは書いてないということですかねここは。
1:26:23	はい。中部電力の方です。こちら記載している方針については変えておりませんで、ちょっと記載のレイアウトや下に、どういうふうに県、京急の大きいケースを選定したのかとかパラメータサジニシノ影響分析がどうだとかっていうところをしっかりこちらの
1:26:39	ちょっと前回注記させていただいたようなところもフローの中に入れ込んだ上で上に戻っていくフローなんかも入れて、実際やってることと一致させるようにしたという修正でございます
1:26:50	はい。
1:26:51	48 ページがそれぞれのパラメータで、一応、ライズタイム破壊伝播破壊開始点で、
1:27:01	それぞれ詳細を本編に記載なので、それぞれ
1:27:05	一応これは本編の方に、ライズタイムをなぜ 60 秒から 300 キロに設定するのか。
1:27:10	既往の知見がこういうものがあって、従って 60 から 300 にしますとかですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:15	後 0.7 から 2.5 キロメートル/sec破壊伝播速度とか大杉力、破壊開始点 6ヶ所にしますっていうのは、一応これは本編にそれぞれの設定の考え方とか、
1:27:28	っていうのは
1:27:29	書いてあってそれわあ特にか変更なしっていうことで、これは大丈夫。
1:27:41	はい。中部電力の郷です。はい。こちら本編の方の、具体的に申し上げますと 135 ページから、
1:27:50	140 ページまで、
1:27:54	それぞれの、
1:27:57	ライズタイムが、135 ページから 138 ページまで、139 ページ 40 ページでそれぞれ、
1:28:05	破壊伝播速度破壊開始点に関する設定の根拠として、既往これまで補足に、
1:28:12	調べていたような資料を
1:28:14	サイホン編の方に掲載させていただいたというような変更でございます。で、それに合わせて 134 ページのところの設定条件も、そこの紐付け、
1:28:24	を明確化させていただきまして、記載を充実化させております。内容説明の内容自体の変更ではございません。
1:28:38	はい。
1:28:39	そうすると、
1:28:41	パラスターのは、パラスターを振る範囲だとか、
1:28:47	そういうものは変わらないの 50 ページからになるんですかね。
1:28:52	はい。で、
1:28:55	これは滑り域の位置がいわゆる概略パラスタテライズタイム破壊伝播速度破壊開始点が、
1:29:01	詳細パラメータスタディ
1:29:05	で滑り切られたパラスターやる順番に沿って影響が小さくなるのであれば、
1:29:12	これがはっきり出ているものは、
1:29:16	基準断層モデルに対して、
1:29:20	次に影響が大きいライズタイムで、
1:29:22	一番影響が大きいものに絞って、
1:29:26	赤い伝播速度は買い替えしてこれは幾つだ。
1:29:30	5 掛ける 6 になるんですかね、この 30 ケース、これは全額しますと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:35	一方で、右側のように、
1:29:40	ライズタイムと破壊伝播速度、破壊開始。
1:29:43	この順番にやるんだけど、
1:29:46	この差が、影響が同程度のものは、
1:29:51	ライズタイムの
1:29:57	が、
1:30:00	近いもの。
1:30:01	90 秒がチャンピオンなんだけど、
1:30:04	ライズタイムとしてはですね。
1:30:06	だけれども、65 とか 120、
1:30:10	ある程度、
1:30:12	これ 180 までとるのか 150 まで取るのか、多分それぞれの
1:30:15	ライズタイムのパラスターやった結果の、どこまで、
1:30:20	広岡っていうのはそれぞれ事なんだと思いますけどある程度影響が大 きいものを追加で選んで、
1:30:26	破壊伝播速度、破壊開始点、もう 5×6、30 ケースをそれぞれ 60 秒 90120、150180 度すべてやります。
1:30:36	やり方は、
1:30:37	それが、
1:30:39	それぞれ基準断層モデルごとに、
1:30:43	んですけど。
1:30:46	まず先ほど、
1:30:52	T
1:30:53	これ、赤、赤と青がってこ白抜って、
1:30:58	結局これって何かさ、最後まで残る、残る。
1:31:02	これ、
1:31:03	先ほどだと敷地前面は基準断層モデル 1 シリーズで、
1:31:08	あれ取水槽が基準断層モデル 3 シリーズなんだけど、
1:31:12	これわあ、
1:31:15	使用基準断層モデル 3 シリーズも、
1:31:18	様式 1 全面をやる、一応分析して、パラスターが十分かも確認するし、
1:31:23	いろんな総合ドイシリーズも取水槽側で同じように何か確認する
1:31:28	これ一応念のためやってるってことでも、
1:31:35	はい。中部電力の森です。ご理解の通りで今回、ちょっとたくさん情報が あって申し訳ないんですけど、51 ページの方の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:45	パラメータ因子の影響分析については、衛藤。
1:31:49	まず敷地前面は 1-1 から 1-5 が、取水槽については 3-1 から 3-3 がということで 1 番目の赤い色つけてるところと
1:31:58	上から 4 番目の赤い色つけてるところで、最大値が出ているということで、その検証は間違いなくやったと。で、影響が小さいモデルが、きちんとパラスターができていくかという観点も
1:32:10	この赤色追い越さないかという点では重要だというふうに考えてますので、そこについても、漏れがないという観点から影響分析を実施して、必要に応じて、
1:32:21	追加の解析が必要かというところの検討したものをつけてください。
1:32:27	うん。
1:32:28	なぜかというのですね、これ敷地前面の基準断層モデル 3 のうち 3-3 って、
1:32:33	ここだけを滑り域っていう概略パラスタと、次の詳細パラメータスタディのライズタイムの何か影響が同程度って
1:32:42	なってしまうので、
1:32:45	この話、5、
1:32:47	ここまで、
1:32:49	これがなぜここで、概略パラスタと詳細パラスタの出口で、
1:32:54	影響の程度が同じぐらいです。
1:32:58	ていうと何かもっと根本的なところに、
1:33:01	話がいきそうな気がするんですけど。
1:33:03	これは理由としては、
1:33:06	滑り域の位置とライズタイムの影響は同程度の影響があります。
1:33:11	ただし、
1:33:13	これは、
1:33:16	すでに基準断層モデル、3-1 から 3-3 という三つ選んでいるので、
1:33:23	ここは十分でしょう。
1:33:26	どういうふうに、
1:33:28	事後的にそれが確認してます。
1:33:33	図らずも確認できましたというそういうことなんですかねこれ。
1:33:44	はい。中部電力の盛です。
1:33:47	5 時間、滑り域の位置はもともと 51 ページの
1:33:54	ロジックツリーのようなところのところを見ていただくとすべて一つではなくって、複数形成選んでいると。で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:03	こちらのパラスタの
1:34:05	一番初めの方の基本的なケースになるので、多少手厚めに選んだ方がいいだろうというような審査会合でのこれまでの議論もあって、影響が大きい小さいではなくてまず、影響が大きい、同程度のものは、すべて選ぶと。
1:34:20	というような方針にしてございますこちらのスペリー絹 I のパラメーターされるところにも記載をしております。
1:34:27	そのため影響度は同じなんですけどもすでに複数ケース選んでいて組み合わせの検討ができておりますので、問題ないということを確認している妥当性、網羅的な検討にも気になっているということを記載しております。
1:34:43	これ、すいません、これ。
1:34:45	今言うと、
1:34:46	53 ページの、
1:34:50	一番左が概略パラメータスタディですね、これの、
1:34:54	右から、
1:34:55	1、2、3、
1:34:58	右から四つめ五つ目六つ目好み。
1:35:01	三つを選んでもってことなんでしたっけ、概略%基準断層モデル 3-13-1、2、3-3。
1:35:13	はい。外で、53 ページは影響分析の結果で今、
1:35:18	分析範囲として囲んでいるところ、
1:35:22	まず敷地前面の滑り域の位置でさ±で 3.5 メートルへとライズタイムで 3.4 メートルということではほとんど変わらないということを見ている分析結果のグラフになります。で、
1:35:34	60 ページの方で、具体的に、
1:35:40	概略パラスタの結果で、どれを選んでいるのかというのを
1:35:45	見ているものになりまして、衛藤赤色、
1:35:48	滑り域が 1ヶ所のケースの回廊のハッチングしてるケースが具体的には、取水槽の方で選ばれているケースになります。60 ページです。
1:36:05	で、取水槽の方で選ばれているケースが敷地前面でも当然大きくなってまして、その周り見ていくと、かなり小さくなっていきますので、そういう意味で指揮、
1:36:17	敷地前面で選んだケースではないんですけども、きちんと影響が大きいケースが選ばれているということを今回確認しているというものになり、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:32	いや、
1:36:33	どっかが
1:36:34	出るのは、
1:36:38	とし、
1:36:39	取水槽の話ではなくて敷地前面でかつその滑り域の位置とライズタイムとの、
1:36:46	関係ここだけ、他は、
1:36:48	例えばですよ。
1:36:51	51 ページの下からミズタ三つ
1:36:54	ライズタイムと破壊伝播速度破壊開始点の関係性を、
1:36:59	存じていて、同営業が同程度なんですけども、という
1:37:03	上から二つ目のものだけはですよ、滑り域の位置とライズタイムの関係で、
1:37:10	同程度になってるんですけど、今の
1:37:14	パラスタのやり方で十分なんですっていう説明になってくるので、
1:37:18	あまり破壊伝播速度は買い替えして、
1:37:21	他のところに行ってもしょうがない。
1:37:36	一番下には、
1:37:38	この 53 ページみたいなところでいやいや、
1:37:41	何だ。
1:37:43	滑り議員の位置の変動が、
1:37:46	プラマイ 3.5 メートル
1:37:48	で一番この上の、
1:37:50	三つを選びましたという、
1:37:52	ただライズタイムの方もそれなりに振れ幅がありますね。
1:37:56	これ、第 4 をすべきの 1 の、
1:38:00	4 番、4 番と 5 番てのやつを、
1:38:02	やると。
1:38:04	全部また準備、最大のもの入れかわりませんかとかそういう話な
1:38:08	んな。
1:38:08	出てこない。
1:38:13	そこら辺ってどういう考察になるんですかね。
1:38:17	もう。
1:38:19	ライズタイムが短いほど津波では大きくなる。
1:38:23	なので滑り域の位置で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:26	上位三つを選んでもるわけですねそういう基準断層モデル 3-13-3-3 にして、
1:38:32	それは 4 番手 5 番手を仮に選んだとしても結局、
1:38:37	ライズタイムの
1:38:39	3、60 秒が一番敷地全面効いてくるんで、
1:38:44	は逆転は起きないっちゃうこと。
1:38:51	うん。
1:38:55	中部電力羽村でございます。ちょっとこの基準断層モデル 3-1 から 3-3 のところが、
1:39:02	思想を乱してるかもしれんけどこれ、最終的に選ばれるモデルではなくても敷地前面で選ばれるのは赤く塗ってある。
1:39:12	影響が大きいモデルということで念のため、敷地への影響が小さいモデルでも逆転はしませんよねっていう確認を、
1:39:22	しているだけなんでちょっと、
1:39:24	位置付けを落とすなり何かした方がいい、いいのかなという気がちょっと今日聞いていて思いました。敷地前面ですね素直にライズタイムが短い方が、
1:39:35	影響が大きいというところが
1:39:38	根底にありつつ、当然一番影響が大きいのは主基準巣守 1-1 から 1-5 なんでこっちはあまり要らない情報と言えれば要らない情報になります。
1:39:54	規制庁佐口すみませんちょっと。
1:39:57	なんかもっと根本的な話なんですけど。
1:40:01	私よくわかってないので、
1:40:03	結局、
1:40:05	51 ページで何を
1:40:09	言おうとしているのかが、
1:40:11	わからないんですよ。
1:40:14	結局、
1:40:15	タイトルは動的パラメータに関する%めいたスタディーで、括弧でパラメータスタディ因子の
1:40:22	影響分析の結果と、
1:40:25	いうふうに書かれていて、
1:40:27	ここは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:29	こういう理由で、こういう根拠で、だからこれまでに設定しているモデルが、
1:40:36	妥当なんです。
1:40:38	それはパラスターをでですね。
1:40:40	ということを、
1:40:42	CMACE5 の 51 ページは、表一覧表とか、結果であるにもかかわらず、
1:40:47	何かそれが書かれているのって、上のその敷地前面のところ、
1:40:52	検討として妥当と評価、うん。これはわかりますが、
1:40:57	取水槽に行くと、
1:40:59	追加解析による影響確認を実施。
1:41:02	で終わってるんですね。
1:41:04	括弧して、
1:41:05	あくまでもその結果選定係数は変わらないことを確認。
1:41:10	で、
1:41:11	一番下の水位下降側も取水塔のところも、
1:41:15	同じようにね追加解析を実施。
1:41:19	しかもこれって、
1:41:21	その結果選定ケースを変更
1:41:23	んなってて、
1:41:24	では、
1:41:25	何をもって結局、
1:41:27	このパラスターなり、
1:41:29	いやあ、網羅的で今の
1:41:32	設定モデルが妥当だという
1:41:35	ことが、このページからは、
1:41:37	わからないんですけど、
1:41:39	もともとそういうことを示すページじゃないんですがこのページ
1:41:45	ちょっと教えてください。
1:41:48	はい。中部電力の盛です。すいません括弧のところまで含めて営業分析として妥当性確認ができたというところの結果になってますのでちょっと括弧を外してきちんと我々の主張として、
1:42:02	弊社の所長として、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:03	選定ケースが変わらないことを確認だとか、追加解析が必要なので実施しました結果として網羅的な検討ができているだとか、きちんと最後まで書く必要があるというふうに感じましたので修正させていただきます
1:42:17	はい、規制庁。
1:42:18	これはだから結果の一覧、こちらの確認結果の一覧なのでそこは、
1:42:23	明確にですね、書いていただきたいのと、
1:42:27	ちょっと前から、
1:42:29	言ってることなんですけど、
1:42:32	結構重要なことが、
1:42:34	* 2。
1:42:36	書かれてないですか。
1:42:37	っていうので、例えば真ん中のその取水槽のところで、
1:42:41	分析結果等で* 4 点、
1:42:44	だってそれって何なんだっていうと、下に書かれてて、
1:42:47	そういう上昇側の津波高の、
1:42:50	評価では、
1:42:51	って書かれてるんですけど、
1:42:53	あれこれって、ライズタイムの影響と破壊伝播速度破壊開始点の影響って、同程度なんでしたっけっていう。
1:43:00	これはあくまでも取水槽における、
1:43:03	そういう場ショウガンに限った話じゃないですか、敷地の面だったら、
1:43:07	これ、
1:43:08	明らかに、
1:43:10	違いますよね。
1:43:11	ていうのが1点と、そんなことを、
1:43:14	この欄外のアスタリスクに書くっていうのがどうなのかっていうのと、あとその一番下の取水塔の下降側の話ですねこれ* 5 がありますけど、
1:43:25	パラメータスタディ分析の結果に、
1:43:27	加え、
1:43:29	ライズタイムが水位低下時間に与えるとか書いてあるけどこの桑江の後の、
1:43:35	文章で、
1:43:37	これ、どこを見たらわかります。
1:43:48	はい。中部電力の森です。それぞれの内容自体は黄色で示してるページに書かれていることではあるんですけども加えの後ということで

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:58	ライズタイムが、水位低下時間に与える影響と破壊開始で破壊伝播速度がスイテイカジながら影響との関係が明確でないというような主張の根拠どこに書かれているかという、そういうご指摘。
1:44:09	よろしいでしょうか。
1:44:11	はい。こちらは
1:44:14	根拠があるという根拠がないので明確でないということを記載しているつもりで
1:44:21	ライズタイム自体は、そうですね。ではちょっとライズタイムのがスイテイカジにどう影響を与えるかというところは書かさせていただき必要あるかもしれませんが、長いほど周期は長くなるけど、
1:44:33	津波の高さも小さくなるので、スイテイカジ鹿庭どちらも
1:44:39	どっちに効かっているのはちょっとわからないような、ライズタイムの影響はスイテイカジ下の方には、長くなるのか短くなるのかちょっと明確でないということです。で、なので、破壊、
1:44:50	介して破壊伝播速度が、じゃあスイテイカジ会にどう影響を与えるのかというのちょっとわかりにくいので、じゃあその組み合わせがどういうふうに影響するのかというの実際に、
1:44:59	検討してみないとわからないというところもあるということをいう意味で明確でないというふうに書かさせていただいています。で、ちょっとこれは自動ショウガンの方では、ライズタイムが短いほど、津波高が高くなるというような整理をこれまでもしてきた
1:45:14	いただいていますのでその対比として、下降側はそうではないと、
1:45:19	津波高は確かに大きくなるんだけど、周期としては短くなるような影響もあるので下降側としては、どっちに敷地への影響として取水性への影響としてどっちが厳しいかちょっとわかり、
1:45:30	しっかりと判断できないという意味で書かさせていただいていますので、少し、もう少しわかりやすい表現になるように、検討したいと。
1:45:38	はい。規制庁佐口です。
1:45:41	ここに書かれている。
1:45:42	趣旨は一応理解はしたんですけど、
1:45:45	に加えというのが本当に正しいのかどうかというのと、多分だからそこで上昇が下降側で、* 4、4と5というところの、
1:45:54	対比も含めて、
1:45:56	取水槽については、
1:45:59	可能性は低いと評価するが念のため、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:03	一方で、手術、下降側のところについては、可能性があるという、ここで、
1:46:11	使い分けてるってそういう理解でよろしいですね。
1:46:16	はい。中部電力の盛です。そうですね、アスタリスクまで読まないとちょっとこのトーンが見えないというような資料になっております。ちょっと申し訳ありません。
1:46:25	それぞれのページではきちんと書いてあるところをちょっとこの1ページで、要約してかつ文字をちょっと減らしたいというようなところもあったんですけどまだあまりしっかりと、できなっていないということかと思えます。再検討します。
1:46:38	はい佐口です。規制庁サクセスもよろしく願いしますんで、ちょっと先ほど鈴木の方からもありましたけど、今度敷地前面のところ、
1:46:47	私がよくわからなかったのは、
1:46:49	結局その繰り返しになりまんなりますけど、どういうことを説明されたいかというところで、
1:46:57	敷地前面のところに行って、すでに、
1:47:00	という
1:47:01	選定済みっていうのが、
1:47:04	結局よくわからなくて、
1:47:06	どの時間断面でこれを説明しているのかっていうのがやっぱりわからない。
1:47:11	ですね。
1:47:12	説明。
1:47:14	も、
1:47:15	時点でもう選定済みだからもうこれOKなのか。
1:47:20	それとも、
1:47:21	すでに選定済みというよりも、
1:47:24	選定、
1:47:25	されている、もしくは選定しているっていうだけ。
1:47:28	の話じゃないのかなと思ったんですけどちょっとその時間断面っていう話っていうのですかね。
1:47:35	という、資料の中でそういう、
1:47:38	ところがちょっと明確じゃないんで、確認させてもらっていいです
1:47:47	はい。中部電力の盛です。すいませんちょっと時間断面というところの意図するところがちょっとよくわかっていないかもしれないんですけど

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	も、もともこの滑り域の位置のパラメータスタディの結果からどれを選定して後ろにまわしますかという時にもともと一つしか選んでなかった。
1:48:02	なんですけども、審査でのコメントを踏まえて、一番初めのパラスタの結果選んでいくところなんでということで、たくさん、
1:48:10	選ぶように方針を変更しています。で、40 ページに滑り域の位置に関する、
1:48:18	概略パラメータスタディの検討方針を載せているんですけども、そちらの一番下の基準断層モデルの選定のところで、網羅的な検討とするために、
1:48:29	影響が最も大きいケース。
1:48:31	と、それだけではなくて同じぐらい影響の大きいケースについても選定することになっているという方針としてさ、決めていますのでその断面で、すでに
1:48:42	影響が大きいから小さいからということではなくて、たくさん選ぶ方針にしているということですので選定をしているということでございます。
1:48:51	はい規制庁佐口でちょっと趣旨が伝わらなかったかもしれないので、すでに選定済みとか、それからその取水性のところは、追加解析ってアリマ
1:49:02	この追加解析の追加っていうのがそもそもどうなのかっていう、
1:49:07	結局ここはもうちょっと繰り返しになりますけど、何で今のモデル、
1:49:13	網羅的にされているのかというのを説明するページなので、
1:49:18	追加とか、
1:49:19	すでにとか、そういう、
1:49:21	これまでの経緯って関係なくって、
1:49:25	こういうことを、
1:49:26	している文字化されて選定されている。
1:49:29	変わってはどうかという、そういうだけの話だと思いますけど。
1:49:33	そこって、
1:49:34	どう理解したらよろしいんです
1:49:41	はい。中部電力の森です。
1:49:43	すいませんちょっと先ほど申し上げた通りでちょっと括弧のところも含めて、きちんと追加解析も含めて、妥当性確認したというような資料にさせていただきたいと思います。
1:50:06	はい。中部電力の盛です 47 ページのところで

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:12	ちょっとPDCAをまわしたというのは、前回審査会合でコメント回答させていただいている経緯もあって、まず1回、一つ一番大きいのを選んでまわしていくと。で、
1:50:22	一番下の影響分析のところできちんとパラメータ作業できてるかというようなチェックをすると、できて、
1:50:29	今回のような、加古川のような同じぐらいの影響になっていて順番として正しいかどうかわからないという時は右側からは上に戻って、追加のパラメータスタディも実施しているというようなそういうフローになっています。で、
1:50:43	ちょっと今この一番下の影響分析がこのくるくるまわした最後の結果として書いていないというのがちょっと今回の
1:50:50	資料、この資料の見せ方としてよくないところかなと思ってまして、最終的にこうくるくるした結果として
1:50:58	妥当性が確認できたというところまで書かさせていただくのかなと。今議論をしていた限りでは、考えています。
1:51:10	中でハバノでございます。ちょっと先ほど申し上げた通り影響の小さいモデル。
1:51:16	いや、もう本当に、
1:51:18	念のため確認したところとしっかり確認したところが、同じ表の中で同率にいて、しかも、説明が、言葉が足りないもんですから先ほどの1000、
1:51:29	フェーズBっていうのもただ、基準断層モデルを選んでもだけの話なんですけど、何かあたかも何かが決まったように読めてしまったりという部分があるんで
1:51:40	ちょっとわかりやすく、どういうことで、
1:51:45	逆転がないかというところをどういう方法で確認してそれが確認できたので妥当であるというところが読めるように、再整理したいと思いますやってる事実としては、
1:51:58	逆転してませんよというところは確認できてますのでそれを読みやすく、
1:52:02	していきます。
1:52:10	はい。規制庁鈴木です。
1:52:12	ちょっと文章的には、多分、敷地前面の基準断層モデル、1-1から1-5は、多分ライズタイムが60秒1本所
1:52:20	他は60秒以外だったり90秒以外だったりもやっているんで、その差を、
1:52:27	つくのは何だというのを多分明確にしたいくて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:32	まず最大のものであって、
1:52:33	その分、結果を分析してみて、2 回目のフローを流すみたいな多分、表現にしてるんだと思うんですけど。
1:52:42	ちょっとすいません、さっきのところに戻っちゃうんですけど、やっぱり 3-3-13-3 の敷地前面、
1:52:49	俺はやっぱりここ 3-13-3 の敷地前面の評価としてこの。
1:52:55	やり方で十分ですかと言われると、
1:52:58	やっぱこれを残すのかっていうのもねそもそも最近県、これを必須示す必要があるのかっていうところから、再検討されるんだと思うんですけど。
1:53:07	60 ページを見てもあんまりそれはわからないし、61 ページの方を見ても、基準断層モデル、
1:53:14	太枠で囲われてないんで、最終結果には関係ないともいい結果なんですけど、
1:53:18	基準断層モデル 3-1 から、
1:53:21	3-3 の中でも、19.8 メートルとか 19.0 メートルとか、
1:53:25	多分これって、概略パラメータスタディやったときは、
1:53:30	ほぼ医師、多分三つとも一緒ぐらいですよ。
1:53:34	あんまりこう、
1:53:36	差がなかったものが、やっぱり詳細パラスタのほうでいろいろと破壊開始点とかも含めて降ると、
1:53:42	1 メートルぐらいは差が出てですね。
1:53:46	そうすると、
1:53:48	基準断層モデル 3-1 から 3-3 に選んでない中でも、
1:53:52	いや
1:53:55	もっと大きい。
1:53:57	ものが、
1:53:58	結果が出るんじゃないの。ただしそれは、最終結果には影響しない話なんですけど、
1:54:04	ちょっと基準断層モデル 3-1 から 3-3 の中で、いやここ十分です。選定済みですっていうと何かそれは違うような気もしてですね、何かあんまりこの検討に、
1:54:15	本出てくる必要があるっていうか、事務連絡でございます。おっしゃる通りで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:21	基本的にライズタイムが短い方が、影響が大きいっていうのは、先ほどから盛が申し上げてる通り 53 ページに見ていただいてもらい財務、
1:54:32	が短くなればなるほど、箱上がってきますのでそういう意味で滑り域の位置が、多少ずれても、ピークは取ってますからっていう。
1:54:43	説明をしているだけでかと言ったこれが多少、1センチ2センチ変わったから、
1:54:50	プレート間地震の津波の評価が変わるかっていうとそうではなくてそれも1-1が大きく凌駕していますのであまり不必要な情報かなと思いますので、これは、
1:55:01	割愛する方で考えたいと思います。
1:55:08	はい。同じようにいくと多分基準断層モデルAシリーズの
1:55:14	どっちだ取水槽かな。
1:55:18	の方も、
1:55:20	多分、
1:55:21	どこだそれわあ、
1:55:23	取水槽なので、
1:55:27	どこだったかな、詳細な分析は、
1:55:33	ちょっと、
1:55:36	基準断層モデル取水層ですね、これは、
1:55:40	54 ページか。
1:55:42	ここに出てくる。
1:55:44	多分これが一応ライズタイムと破壊伝播速度赤い会社の営業同程度ですって言うんですけど、
1:55:50	これ高々コウ0. 何メートル。
1:55:53	よね。
1:55:54	この関係性が、
1:55:56	多少変わったと
1:55:58	そもそも、
1:55:59	水槽の方って、
1:56:01	検討波源モデルでいい。
1:56:02	基準断層モデル 3-1 から 3-3 の方が、
1:56:06	多分メートル単位で、
1:56:08	理解は、
1:56:11	あんまりそこの基基準断層モデル、1-1 から 1-5 の、
1:56:17	水槽の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:19	なんていうか検討が、
1:56:21	十分かどうか多少、
1:56:24	これよりも何か 10 センチ 20 センチ多くなったとしても、
1:56:27	そんなものは、基準断層モデル 3-1 から 3-3 の方がそもそもメートルに 1メートル 2メートル単位で、
1:56:34	基準断層モデル 1-1 から 1-5 で大きいわけなんで取水層の中は、
1:56:39	だからあんまりここの分析の意味がそもそもない。
1:56:44	やっぱりここは、
1:56:47	なので
1:56:49	うちで念のためにやってるのかもしれないんですけど、
1:56:53	ちょっとそういうものに対して、重み付けがはっきりしないままこう分析のところに乗ると。
1:56:59	これ、これは基準断層モデル 1-1 から 1-5 の取水層の検討として十分なのかみたいなのでね。
1:57:06	これ見てしまうので、
1:57:08	ただそれって、そもそも必要な検討なのか。
1:57:14	それもあって、何だ、
1:57:19	47 ページのところ、そもそもといって、水位上昇側敷地前面と取水層に分けて、それぞれで検討波源モデルA、Bをベースに基準断層モデル 1-1 と 1 シリーズ 3 シリーズそれぞれもう、
1:57:33	着目するものを作ってますって言うので、
1:57:36	あるなら、それがいえるんだとすると、
1:57:40	そもそもこういうところで、いやこの検討しないで心配で心配で仕方がないですって言うてしまったら、それは、入口の段階で残しとかなきゃいけないって話になるんで、
1:57:51	多分それはね、
1:57:55	概略パラスタの結果から、基準、上昇側、取水せひ前面と取水槽でそれぞれ、
1:58:02	基にする。
1:58:04	検討波源モデルを分けましたと。
1:58:06	で分けて検討して、その結果は、最後 61 ページになっていて、
1:58:13	それは間違ってますんという話なんですわね 61 ページ、これ明らかですよ 22. 何メートルに対して、20 メートルに行かないとか 3 メートルぐらい差がある。
1:58:22	敷地前面はですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:23	水槽のほうでも 2 メートルぐらいまで 2 メートルはないか、1 メートル強ですね。
1:58:28	差があるんで、
1:58:30	多分これはもともと着目して、
1:58:33	敷地前面は、検討波源モデルAベース。
1:58:36	取水槽は検討波源モデルDベースで作ってたっていうのは、これは間違ってますでしたっていう、それは多分そのだけの話。
1:58:44	間の調整、分析をしてですね、ここに十分性を示そうとするとなかなか苦しいんじゃないかと思えますけどね。
1:58:51	はい。
1:58:53	ていうか多分、そういう、そこまでの必要性は多分私も考えてないんだと思うんですけど。
1:58:59	はい。中部電力の盛です。ありがとうございます。ちょっと、どこまで分析をするのかというところがちょっと明確でなかったなと思いました。おっしゃる通りで 61 ページのところで見ると
1:59:10	かなり差がついているところを、その中をちょっと比較しているような状況になっているので今回の分析で 0.1 メートル単位で今比較するところとはちょっとトーンが違うところがございますので、まず分析の範囲どこにするのかで、それやらなくても
1:59:24	きちんといえるところは言うのかというところを再整理させていただきます。
1:59:31	はい。
1:59:33	あとねえ。
1:59:34	止まってね。
1:59:36	これはんなる。
1:59:38	あれと次どうしてたかな。
1:59:40	これ多分質問の資料作りの質問なんすけど、55、例えば 55 ページで、
1:59:45	これって、
1:59:48	基準断層モデル 3-1 から 3-3 まで多分三つあるので、
1:59:53	ライズタイム 60 秒の
1:59:55	ケース。
1:59:56	しても、300 分のケースもそうですけどこれだから、
1:59:59	基準断層モデル 3-1 でライズタイム 60 秒のケースとかっていうんで、ただそれぞれ三つあるはずなんですよ。
2:00:06	これ、丸黒丸が 1 個っていうのは、これは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:11	基準断層モデル 3-1 から 3-3 のあれ平均で出してんでしたっけ。
2:00:15	それとも、
2:00:17	その何か最後一番最後に残る最大のもので分析して、
2:00:21	それが、
2:00:23	わかりますかね。
2:00:26	はい。中部電力の盛です。こちらの最大のケースをすべて書いているものになります
2:00:37	だからさ、ライズタイムだと 3-1 から 3-3 の中での最大だからどれだ。
2:00:46	A3 の 2 か。
2:00:48	違う。
2:00:53	3-2。
2:00:56	ライズタイム。
2:00:59	はい。中部電力盛です。具体的には 3-2 になります。
2:01:03	以前はちょっと平均を書いたりしたんですけどもちょっと審査会合での議論を踏まえて最大値の方の整理の方が、
2:01:11	いう主張が明確になるんじゃないかというな
2:01:14	ご指摘をいただきまして今再度整理になっております。で、具体的には 3-2 が今一番大きいですので 3-2 の結果が載っているというふうに見ていただければと。
2:01:26	はい。だから真ん中の大座間さんの 2 の結果ですよ。
2:01:29	で、右の破壊伝播速度は、開始点はその 3-2 のケースに対して、
2:01:36	破壊伝播速度破壊開始点を振ったときの、
2:01:43	この最大どれかの最大パターン。
2:01:45	岡井。
2:01:47	羽根。はい。
2:01:49	それはね。
2:01:52	後々、
2:01:53	どういうものをここに載せてるかっていうのは、
2:01:56	多分補足説明の 6 の 5 章とかに行くと、
2:02:01	いろんなケースというか検討結果とか詳細には載ってるんだと思うんですけど、
2:02:05	どれを載せているかっていうのがわかるようにしてもらいたいのと、あとは、
2:02:11	スケールはもうちょっと工夫した方がよくないですかねっていう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:15	敷地前面は0から24メートルぐらいの場でいいんだと思うんですけど、
2:02:22	うーん、取水槽とか、この辺りになってくると。
2:02:26	ナカイほとんど横ばいで、ライズタイムが短いほど津波水位が大きくなる関係は、
2:02:32	とかって、
2:02:34	言われてもですね、多分実際そうなんですよ、わずかながら。
2:02:38	ライズタイムに依存してちょっとずつちょっとずつ差がついていて最後プラマイ0.6メートルとか0.4メートルの差が、
2:02:46	あるんだと思うんですけど、これ次の、
2:02:49	次のページかな。
2:02:51	56ページも、
2:02:54	300秒から150秒にかけて水位低下時間が、
2:02:57	鍛造するかって言っていて、
2:03:00	それ以降ほとんど変わりが無いっていう。
2:03:03	とかね、破壊伝播速度とかの方。
2:03:05	ちょっとこれ、あえて、
2:03:08	この0から24メートルのスケールで、
2:03:11	ほとんどよ、横ばいにしか見えないような
2:03:15	見せるよりはもうちょっとなんかスケール工夫してもいいんじゃないかなと思いますけどね。
2:03:21	敷地前面の上昇側とかだと、
2:03:25	概略パラスタの
2:03:27	振れ幅もかなりあるんで、それなりのスケールバーでいいと思うんですけど、
2:03:35	ナカセアノ線の太さとか丸の大きさに対して、
2:03:40	どんどんもったいない見せ方なんじゃないかという気もしますけど、
2:03:45	はい。中部電力盛です。
2:03:47	おっしゃる通りでちょっと55ページは簿防波壁というか、基準津波の高さを意識しています。で、取水層の方はまずそこと同じ尺度で影響があまりそこまでのパラスターと影響がないということも見ていただけた方がいいかと思ってスケール合わせております。で、
2:04:05	56ページの方も取水槽の水、取水可能時間、赤く塗ってますけどそれが20分以上になってますので、
2:04:14	そこの関係であまり振れ幅がないよということも見ていただきたいなと思ってこれにはしています。ただちょっと今、App

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:22	した方が見やすいんじゃないかというご指摘もいただきましたので、そのような図をちょっと作ってみたいと思います。
2:04:30	はい。年利システムパラメータスタディをやった結果の影響の分析、影響の分析で上に書いてある、
2:04:39	こういう結果がわかりましたっていうところが、
2:04:42	パッと見て図でわかるようになっていう
2:04:44	趣旨なんで、
2:04:47	はい。
2:04:48	ちょっと細かい話ですけどね。
2:04:54	一応、
2:04:58	追加で解析をやる必要はなくて、ちょっと次までにまた、
2:05:05	費用の見せ方を工夫するとしてですね。
2:05:08	様を、
2:05:11	パラメータスタディを、
2:05:14	一番影響が大きいもので、
2:05:17	分析をしてみてその結果も踏まえて、
2:05:22	2番手のライズタイムをどこまで捨るか。
2:05:25	60秒とか90秒とか最大のものじゃないものも、
2:05:29	捨った上で、
2:05:31	次の破壊伝播破壊開始点の分析をするかと。
2:05:36	ちょっとそこが最後どこまでで十分性をいえるか。
2:05:41	はい。
2:05:44	何か結果最終結果は前回から変わってないと。
2:05:47	最終結果というかそもそも解析結果自体は変わらないんで、
2:05:51	最終結果も変わりません。
2:05:55	はい。
2:05:56	一応今、コメント回答資料は全体は一通り止めます。
2:06:01	コメント回答の中で、
2:06:04	0%。
2:06:08	規制庁佐口ですけど、ちょっと細かいところで、
2:06:12	点、
2:06:13	1点、2点ほど教えていただきたいんですけど、57ページなんですけど、
2:06:18	これ、
2:06:19	二つ目の四角を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:21	近くのところで、
2:06:24	一部の基準断層モデルのうち選定されるケースが変更となったが、ライズタイムの違いによって、
2:06:30	破壊伝播速度を返してのパラメータスタディの結果は大きく変わらないことを確認したって、
2:06:36	結局これって、何がおっしゃりたいのかよくわからなく、
2:06:43	選定されるケースはもう変更は変更になっている。
2:06:47	ていうの。
2:06:48	別にその
2:06:50	大きく変わろうがカワハラ
2:06:53	んなくても、
2:06:54	変更は変更なん。
2:06:56	で、
2:06:57	結局、
2:06:58	大きく変わらないことが、
2:07:01	どういうことを言いたいのかっていう、大きく変わらないことを確認したっていうのが、
2:07:07	最終結論なのか大きく変わらないので、こうこうこういうことについて確認したっていうのが、
2:07:14	最終結論なのか、ちょっとそこを教えてもらっていいです
2:07:20	はい。中部電力の盛です。こちら先ほどのちょっとPDCA送るとまわしたところとの関連になるんですけどもちょっと前回、審査会合のままになっています。で、結論、今回の最終的な結論としてはきちんと、一番大きいものが選ばれているということだと思いますので、
2:07:37	ちょっとそのように修正させて、先ほどとちょっと関連。
2:07:40	合わせて一度修正させていただきたいと思います。
2:07:46	はい。規制庁佐口ですよろしくお願いします。あと1点ですね最後の方なんですけど、結局この、
2:07:51	4、4章になるんですかね。
2:07:54	内閣府の最大クラスモデルとの比較による確認って、ごめんなさいこれ。
2:07:59	ちょっと。
2:08:00	コメントの細かいところを、
2:08:04	拾っ
2:08:06	て、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:07	あくまでも
2:08:09	滑り量の話だけに、
2:08:11	特化されたのか。
2:08:14	ちょっともう1回教えてもらっていいすかね 64 ページでこれ。
2:08:18	滑り量っていうのはもちろん
2:08:21	内閣府の最大クラスモデルと。
2:08:24	御社のモデルと、
2:08:26	当然異なってるんですけど、
2:08:29	その前、前のページとかも当然書かれてますけど、
2:08:33	破壊開始でも当然違う。
2:08:35	64 ページでな、なんか。
2:08:38	うん。左、左に破壊開始点を合わせて、その左側に入れるというよりも、
2:08:45	多分これ、他でもやや、
2:08:47	やってないのかや、
2:08:49	結局その、まず破壊開始点として、これぐらい変わります。
2:08:54	さらに、
2:08:55	滑り域の位置を変えることで、これぐらい変わってきますという、
2:09:01	ステップ
2:09:02	を踏んで結局右側で全部それを示せば、
2:09:07	終わりのような気がするんですけど何かこれ。
2:09:11	買い替えして合わせてこの滑り量だけの比較をされた。
2:09:17	ちょっとごめんなさい。コメントでそういうコメントがあったのかもしれないんですけど。
2:09:21	そんな、そうされたのか教えてもらっていいです
2:09:24	巡礼カワムラでございます。結構古い頃に、
2:09:29	朝田管理官から、
2:09:32	内閣府等、
2:09:34	何が変わるとどう違って今の結果になってるかを、
2:09:39	示しなさいという。
2:09:41	コメントをいただいた時につけたものですね右方再掲と書いてますが当時のものをそのまま記載させていただいております。だから、江藤内閣モデルとうちが同等のモデルを使ってるので、
2:09:56	多少の滑りの差はあるものの基本は、同じ 21.1 になりますよと、破壊開始点をずらしてもそこは変わりません。ただそこにさらに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:07	情報滑り域の滑り量というところ、
2:10:16	1、駿河湾内に滑り量を見たり町を滑り域をずらしたりという結果、どれぐらいの
2:10:23	変化があるかというのを示しているというところで、私も今見てて左側に、当会社いらなかなってというのは、おっしゃる通りだなと思うんでちょっとその辺りは、
2:10:34	わかるようにしたんですが、各項目ごとにとど、どういう差が、
2:10:39	どれだけの様な不確かさが、津波高として織り込まれているかをわかるようにしてあるものですちょっとここは改善させていただきます。
2:10:47	はい規制庁佐口ヤマザキアノ今、天野さんおっしゃったように内閣府呉モデルに対してどれぐらい御社がその敷地に対して影響が大きくなるような形がサトウを
2:10:59	きちんと織り込んでますかっていうのがわかるようなところ。
2:11:02	の資料だと思います。
2:11:04	そこはよろしくお願ひし
2:11:16	はい。
2:11:17	よろしいですか他コメント回答、
2:11:27	最初に戻っちゃって申し訳ないんですが、24 ページでちょっと1 個だけ確認させてください。
2:11:32	さっき佐口さんからいろいろ指摘があつてまた直す、なるのかもしれないんです
2:11:37	が、
2:11:37	いわゆる土木学会 2016。
2:11:39	あと、内閣府 2012 のモデル手法ってあるんですが、それぞれは特性化波源モデルを設定する。
2:11:46	ものであつて滑り量の大きさだったりとか、面積比率が違うってことだと思ふんですけど。
2:11:52	あくまでも広域のところ、津波特性を考慮するときに、御社は土木学会を、
2:11:58	使つていて、
2:12:00	市に大きな津波を発生させるときには内閣府の、
2:12:03	特性化波源モデルを使ったという理解でよろしい
2:12:10	はい。中部電力盛です。おっしゃる通りです。
2:12:15	何かちょっとこの表現が、
2:12:19	広域の津波特性を考慮できる土木学会 2016。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:23	書いてると。
2:12:24	内閣府はそうじゃないのかとか、ちょっと何かその辺、
2:12:40	でも、
2:12:41	内閣府に、
2:13:22	そのままの
2:13:55	そうなんですすみません。
2:13:58	わかりました。ただ何かこう、
2:14:00	ちょっとこの表現がもうちょっと、
2:14:03	これが一般的に正対する沿岸域に大きな船橋内閣府っていうのは、
2:14:08	書かれてたりとかするんですかそんな、
2:14:11	それ。
2:14:14	ここ我々の分析結果として整理しています。今、
2:14:20	セキされの受けた点については 3.11 位の
2:14:28	インバージョンモデルをもとに、内閣設定してはいるんですけど、じゃあそれですべての津波高が再現できるモデルになっているかというところではないということも検討していて
2:14:38	例えば特性化するとミナミの方は、やっぱり一つのモデルが再現できないけれども、滑りを南にずらすことによって包絡できるので問題ないというような
2:14:49	下、考え方になってますんでそういう意味で生体するところを大きくす。
2:14:52	大きい津波を起こすモデルで、ちょっと離れたところも生態するところに置けば、それが包絡できるモデルになってるというふうに我々の方で分析して、
2:15:01	わかりましたすみません、ちょっともう 1 回私も確認します。自分でちょっと今道口さんおっしゃられたところの、できるだけ読めっていうのは、ちょっと乱暴なんで、多少、
2:15:14	これもうまとめに入ってきますので、それぞれの差が少し、こういうもんだっていうので細かいのは補足説明資料に全部入れてございますのでその辺り読めるようにします。
2:15:26	ありがとうございます。
2:15:28	あとすみません。
2:15:29	知見収集ってのは日頃やられてると思うんですけど、最近絵画工学講演会とかで、反映しろとかそういう話じゃないんですけど
2:15:38	何か内閣府のモデルルーについて断層モデルの深さを変えたりとか、滑り角変えるみたいなそういう、それで水位にどう変わるかって、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:49	いう論文が出てたりとかしているんですけど、そういうものとかも、
2:15:53	確認されているのかな。
2:15:56	ていうのをちょっと、
2:15:58	はい。
2:16:00	はい。中部電力モリズこっちはしておりますんで、甲斐講演かも聞いて おりまして結論としてあんまりそこまで影響があるものはなかったという ようなまとめになっていたというふうに
2:16:11	認識しております。
2:16:14	はい。そうですね。論文では西日本沿岸の話をされ、
2:16:18	断層の
2:16:20	深さによって、津波の高さが変わるっていうのは、地域によって評価地 点とか地域によって変わると思うんで
2:16:26	そういうちょっと知見がありましたっていうと、
2:16:28	はい、ありがとうございます
2:17:50	規制庁すべきですちょっと先ほど道口さんが言ったような
2:17:54	多分冒頭にも、
2:17:56	アノカセジンノ方から途中でも、
2:17:58	これ、手法による違いですかみたいなの。
2:18:01	この手法を使いたいからそのためのなのか、こういう検討すをしたい。 それに合う手法はこれらなのか。
2:18:08	ていうところの話の何ていうか、構成。
2:18:11	で、全体ので、
2:18:14	ちょっと本店の方はおおよその項目食うわけは先ほどコメント回答のと ころでもあったと思うんですけど、
2:18:24	いくつか
2:18:27	1章は、南海トラフに着目しますって話だけなんで、良い、
2:18:33	ね。
2:18:34	以上が基準断層モデルの設定というところで、コメント回答とかぶるよう なところは除いて、
2:18:42	25 ページ。
2:18:45	かな。
2:18:46	これは過去の資料を運用してるから、
2:18:51	再掲してるからなんですけど、
2:18:55	1025 ページのところの二つ目ですかね痕跡再現までは内閣 2020 等、 2020、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:02	年時点までの、
2:19:04	知見ということで、これは当時がそうだったということで、それ以降とりあえず最新の、これ多分まとめ資料を作るときとか、
2:19:12	そういうことなのかもしれないですけど一応今現状再掲なんでね。
2:19:16	それは、
2:19:18	大きいですね、一応地震の、
2:19:22	簿、そして次の箱に南海トラフ大井国内外の
2:19:26	共通の考え方とって、
2:19:29	二つあるんですけど、ちょっと知って欲しいのが、2 個目金井加来と、南海トラフのプレート形状、滑り欠損分布、断層形状、地形地質並びに火山の位置等から考えられる。
2:19:42	と言ってる。これ、それぞれが、これが、
2:19:47	共通の考え方をもとに、下に発生してくんですよね。
2:19:51	これそれぞれなんかプレートの形状とか滑り欠損分布とかって書いてあるのがこれそれぞれどこに最後落とし込まれてるかって言ってもらっていいですか。さすがに火山の位置は関係ないんだと思うんですけど、ガイドから持ってきた。
2:20:11	はい。中部電力の盛さん。こちらの記載自体はガイドの記載になります。で、痕跡再現モデルも検討波源モデルも共通的に、その波源をどういうふうを設定
2:20:22	波源のプレート形状だったり、滑り欠損分布ってのは、要は波源の範囲ですね、どこまで設定するのかというところ、断層形状も同じだと思いますけどそういうところについて南海トラフの、
2:20:34	地形に基づいて設定しているというところが同じだということで記載をしております。
2:20:39	はい。
2:20:40	一応、その数の 1、
2:20:42	ていうところ以外はですね。
2:20:44	全部はい。
2:20:45	はい。
2:20:48	それがですね
2:20:50	それ
2:20:51	右側、右下次のページでもいいんですけど、
2:20:55	小地震の規模のところ、
2:20:58	南海トラフでは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:00	一応宝永地震と大きく異なる地震が発生する可能性北川不確かさとして、
2:21:06	これなるほどや、
2:21:07	南海トラフの波源の広がりを最大限に考慮した上で、これが1点目ですね、2点目が保守的なスケーリング則に基づき、
2:21:16	最後、東北沖地震と同等以上の規模の地震。
2:21:19	ていう
2:21:21	3点あるんですけど。
2:21:23	これが、
2:21:26	次の地震の規模の詳細多分次のページですね。
2:21:31	最後ここもう、同じようなことが書いてあって一番、26ページの
2:21:36	一番下ですね南海トラフの波源の広がりを最大限に考慮
2:21:41	2点目保守的なスケーリング則にも、
2:21:43	東北沖地震と同等以上の規模、
2:21:47	こういつ点目の、
2:21:48	不確かさとして南海トラフの波源の広がりを最大限に考慮した上でというの、
2:21:54	これは、
2:21:58	これ九州パラオ海嶺のところの、
2:22:00	ぎりぎりのところまでだったり、固着が小さいようなところまで含めて、
2:22:08	想定最大クラスの張り切って何か白い点線で囲ってますよね。
2:22:13	心のことを言っている。
2:22:18	はい。おっしゃる通りです。こちらすみませんちょっとまとめだけ持ってきておいてええと、補足に詳細はあるんですけどもこの白い点線まで考慮するというのが最大クラスの波源。
2:22:29	すいません。不確かさとして南海トラフの波源の広がりを最大限考慮というところに対応しております。
2:22:36	はい。この保守的なスケーリング則に基づくっていうのはこれは、
2:22:41	ここはもう補足これは補足にいけば、そんな。
2:22:45	はい。すいません。こちら補足で室田ニイヌマ3メガのスケーリングを見ると包絡できるというような知見を踏まえて設定しているというところ、それもあってことですね。
2:22:56	あと東北沖地震と同等以上の規模の地震って言うてるのは、あれが、
2:23:02	Mwの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:04	9.0 に対して 9.1 だから、ここにはドアノ多分この中には出てこないと思いますけど、どっかのところで確か、
2:23:12	投光器がMw9.0 と。
2:23:15	本社のやつが多分 9.1 だったかな、9.1 ないし 9.2 かな
2:23:22	そのことを言ってる。
2:23:24	はい。中部電力の森沢の 24 ページのところで、今のそのABを
2:23:29	中央防災会議の記載に基づいて整理したものがございます。Aの方の地震規模、表の方ですけども、まず 1 度 9 の 9.0 の規模の巨大地震がということで、9.0 になってますので、そちら以上のものを、南海トラフで考慮しているという、
2:23:47	記載にして今
2:23:53	わかりました小高中央防災会議 2011 号、
2:23:57	踏まえている。
2:23:58	はい。
2:24:00	それ、内閣の 2011 自体がそういうことを言ってるのでそれを踏まえてるんだから、これはクリアしてるでしょ
2:24:07	というこ
2:24:08	とそれぞれ、こういうことをやるんです。
2:24:11	いやそれはどこを見ればやってるのがわかるんですかねっていうのは、そこ、はっきりしないので、
2:24:18	特にこれって一地震規模というところの結論として書いてある。
2:24:25	は、
2:24:28	この考慮はここのことです。
2:24:31	これやってるんでこれ、これで十分だというのがわかりますっていうのはね、はっきり
2:24:35	しておいていただきたい。
2:24:37	根井。
2:24:39	分科会聞いたらいいかな。
2:24:47	昔の検討を覚えている人は多分たどり着ける。
2:24:52	困るんです。
2:24:56	はい。今回ちょっと当社として今補足説明資料ちょっと細かい根拠情報になるので、そこは今回のそのまとめのコメント回答としては省きたいというふうに考えています。なので本編の方で、必要な情報が拾えるようにさせていただきたいと思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:25:13	コメント回答に入れてくださいって意味じゃないのです。はい。はい。本編資料の方でわかるような記載なりを、追記等を検討させていただきます。
2:25:25	まとめに資料をつかってまとめに向かっていくにあたって、そういうのがわかるように、
2:25:32	ちょっとねその辺が多分、
2:25:35	詳細パラメータスタディのさっき言ったライズタイムとかね、破壊開始点、伝播速度の根拠は何ですかっていうと多分それは本編飛んで、本編にこういうところから持ってきましたっていうのが、
2:25:46	割とはっきり書かれるんですけど。
2:25:49	こういう波源モデルの設定とかですね。
2:25:53	いう断層モデルの
2:25:55	値どう思ってきましたかっていう時で所々、
2:25:59	あれ、これって一何だったっけっていうのが、
2:26:04	そういえば聞いたことがあるよなとか。
2:26:06	そういうものが出てこないようにしていただきたい。
2:26:11	いうところで、
2:26:12	根井。
2:26:15	渋谷鎌野でございます。申し訳ございません。本編の中で、読めないというか補足とかないと言えないところとかちょっともう一度、
2:26:26	ワンスルーで点検してですね、本編資料をざっと読めば、私どものお伝えしたい内容が、まず読めると、より詳しいのは補足。
2:26:36	ていうような構成に、今一度点検して参ります。
2:26:42	はい。
2:26:43	特に何か文献を根本にとか、多分内閣 2012 とか、基本の政府なり行政機関なり、研究機関の検討、
2:26:54	元にしてますよというようなものと多分自社独自の考えですっていうようなところ。
2:26:59	多分あるんだと思うんですけど、その前者みたいなものがちゃんとはっきり
2:27:03	これを基にしてますっていうのはわかるよ。
2:27:06	はい。
2:27:08	あと気づいた。
2:27:10	この、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:27:12	さっき途中で話にあったような飲酒等沿岸の痕跡再現モデルの話ですかね。
2:27:17	あれは一応、確か 61 ページですかね。
2:27:22	多分こういうようなところは、
2:27:24	何ていうかこの、
2:27:26	痕跡再現モデルを
2:27:28	考えなきゃいけない何か理由っぽいことはですね、中町宝永地震の津波よりも安政東海地震の津波の方が大きな地域もあるとかいろいろ書いてはあるんで、
2:27:38	多分こういうような、
2:27:40	話が、
2:27:41	2 行ちくしょう出てるんだと思うんですけど。
2:27:46	それ以外は、今のところはちょっと先ほど話題が出たからって話。
2:27:51	それ以外特に、
2:27:52	今の 4K カッパーの話とか特に変えてはいないんですよ本編で何か大きく。
2:28:00	さっきのコメント回答以外で書いてあるところってありますか。
2:28:12	特になければ、先ほどもあった言ったように、少し補足 2 飛ばしたりするようなものは、
2:28:20	逆にわかるような形で、
2:28:23	ていただければな。
2:28:29	あとそうだ。どこだ。
2:28:30	本木と
2:28:34	例えば、
2:28:36	だろう。
2:28:58	ここは単に単純に、古橋さん、薄井土肥 100、例えば 160。
2:29:03	106 ページか。
2:29:05	解約パラメータスタディのところとかで、あまり出てくる。
2:29:09	これも、
2:29:10	これの、
2:29:13	米印じゃないけど何か注釈 2 みたいな形で下にちっちゃく書いてある。
2:29:19	Mw9 以上の巨大地震の大津ビリティの数は 1 から 2 行と分析されている。
2:29:24	これは補足説明資料の方に何かそういうあれでしたっけ。
2:29:29	何か文献なり、何かナカセの評価なりで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:29:35	言われてる。
2:29:37	ものが確かあつ。
2:29:39	なんでしたっけ。
2:29:41	ちょっとこういうなところも、
2:29:43	確かに何も書いてないと本当何でこれ 2 個に分けるんだっけっていうところの部門から出てくる。
2:29:50	一応、これは何か。
2:29:52	御社が独自で考えたことじゃなくて一般的なこの、
2:29:56	M9 クラスであると。
2:29:58	やり方。
2:29:59	ということで、もうほぼ文献文献なり、なんかな。
2:30:03	いう本或いは内閣ベースっていうことでいいんでしたっけ、これ。
2:30:09	はい。中部電力の盛ですこちらの内閣府がM9 クラスの地震の分析をしていて滑り域は 1 個ないし 2 個だというような分析をしていますのでちょっとすいません主語がないということだと思います。はい。
2:30:24	すいませんまさしく今集合がとおっしゃいましたけど、多分そういうようなところですよ。
2:30:34	何か設定元ぐらい、かっきり書けるんだったら、ここに書くのこう言ってるんであります。ちょうどその詳細は補足に内閣府の方でどういう
2:30:42	イセでどう言われてるかは書きます。
2:30:45	内閣の方でそもそもそういう
2:30:49	ことが言われてますとかっていうことであれば、もうそこまで書いてしまえば、あとほぼあんまり補足に、
2:30:54	その都度飛ばなくていい。
2:30:58	はい。
2:31:00	本店大きくは、先ほど言ったようなぐらいで、
2:31:05	コメント回答のところに出てきたようなところと重複するようなことは今言いませんけど、はい。
2:31:11	他何かあります。
2:31:21	中部電力天野でございます。ありがとうございます
2:31:25	どうしても過去数年かけてコメント回答をしてきたところを引っ張り出しながら構成してるものですから、1 ページ 1 ページの中に、説明が足りてないところ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:31:39	今日、ヒアリングの中でご確認いただいて重々よくわかりましたので、もう一度1回全体点検してですね、コメント回答の中、或いは本編資料の中でしっかり、
2:31:51	どういことをやってきたかっていうのが、
2:31:55	一定程度しっかり読めるようにしつつ、より詳しい検討は補足でわかるというような構成ももう一度点検して参りたいと思います。
2:32:04	よろしくお願いいたします。
2:32:12	はい。
2:32:13	じゃあ、よろしければヒアリングの方は、じゃあ、以上で、
2:32:18	したいと思います。はい。
2:32:20	よろしいでしょうか。はい。お疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。